

金ヶ崎町
介護予防・日常生活圏域ニーズ調査
及び在宅介護実態調査
報告書

令和2年3月

金ヶ崎町

目次

I	調査の概要	1
1.	調査の目的	1
2.	調査概要	1
3.	報告書の見方	1
II	日常生活圏域・ニーズ調査	2
問1	ご記入について	2
問2	あなたご自身について	2
問3	あなたのご家族や生活状況について	4
問4	からだを動かすことについて	6
問5	食べることについて	9
問6	毎日の生活について	11
問7	地域での活動について	13
問8	たすけあいについて	17
問9	健康について	19
問10	認知症にかかる相談窓口の把握について	23
問11	今後の意向等について	24
III	生活機能評価項目別の分析結果	27
1.	要支援リスク判定	27
2.	IADL (Instrumental Activities of Daily Living : 手段的日常生活動作)	34
IV	在宅介護実態調査	36
1.	調査対象者について	36
2.	主な介護者の方について	44

I 調査の概要

1. 調査の目的

本調査は、「第8期金ケ崎町高齢者福祉計画・介護保険事業計画」の策定に向けて、高齢者の生活状況や健康状態、地域における活動の状況などを把握し、本町の高齢者福祉施策の検討や、介護予防の充実に向けた基礎資料とすることを目的に実施しました。

2. 調査概要

- 調査対象者 : 金ケ崎町在住要介護認定者を除く介護保険第1号被保険者
- 調査票配布数 : 700件（無作為抽出）
- 調査期間 : 令和2年1月27日～2月27日
- 調査方法 : 郵送による配布・回収（無記名で回答）

	配布数	回答数	有効回答数	有効回答率
介護予防・日常生活圏域二一ズ調査	700件	517件	513件	73.3%

- 調査対象者 : 金ケ崎町在住要支援・要介護認定者の家族
- 調査票配布数 : 300件（無作為抽出）
- 調査期間 : 令和2年1月27日～2月27日
- 調査方法 : 郵送による配布・回収（無記名で回答）

	配布数	回答数	有効回答数	有効回答率
在宅介護実態調査	300件	199件	197件	65.7%

3. 報告書の見方

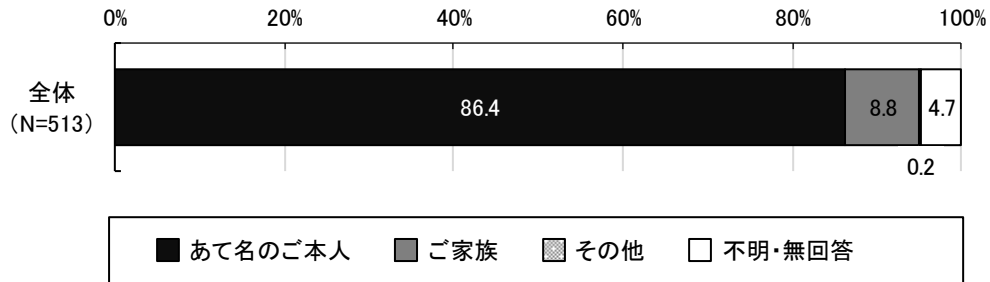
- 回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書内の分析文、グラフ、表においても同様です。
- 複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- 図表中において「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- 図表中の「N (number of case)」は、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表しています。
- 本文中の設問の選択肢は簡略化している場合があります。

II 日常生活圏域・ニーズ調査

問1 ご記入について

問1(1) 調査票を記入されるのはどなたですか (SA)

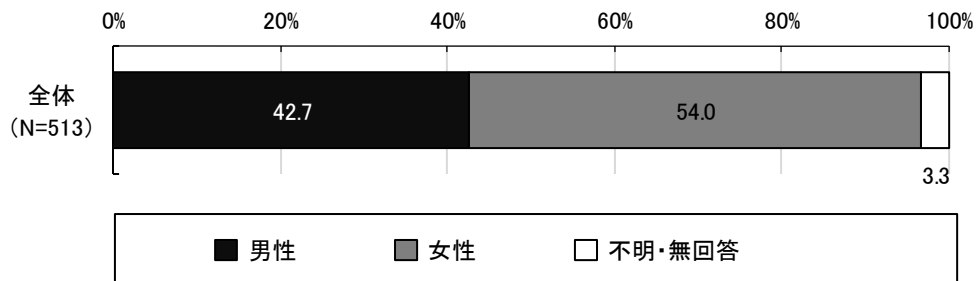
調査票を記入される方についてみると、「あて名のご本人」が86.4%、「ご家族」が8.8%となっています。



問2 あなたご自身について

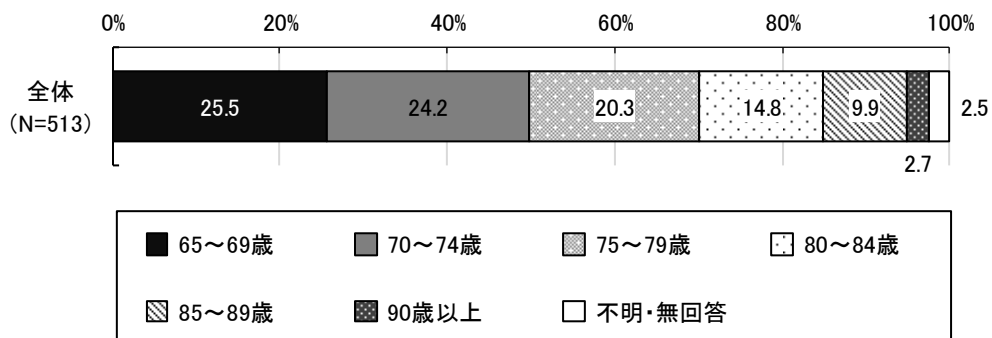
問2(1) 性別 (SA)

性別についてみると、「女性」が54.0%、「男性」が42.7%となっています。



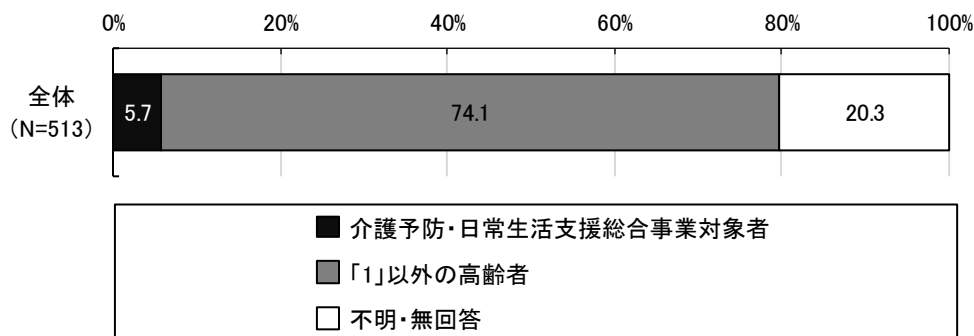
問2(2) 年齢 (SA)

年齢についてみると、「65～69歳」が25.5%と最も高く、次いで「70～74歳」が24.2%、「75～79歳」が20.3%となっています。



問 2(3) 認定区分 (SA)

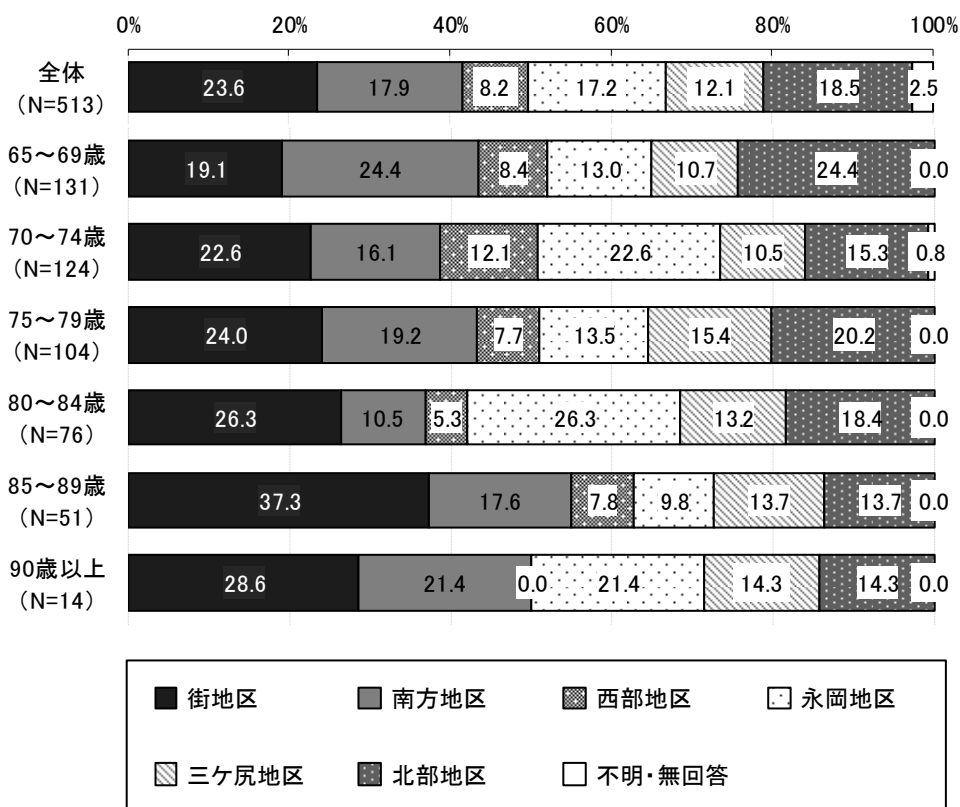
認定区分についてみると、「1」以外の高齢者が 74.1%、「介護予防・日常生活支援総合事業対象者」が 5.7%となっています。



問 2(4) 居住地域 (SA)

居住地域についてみると、「街地区」が 23.6%と最も高く、次いで「北部地区」が 18.5%、「南方地区」が 17.9%となっています。

年代別では、85～89歳で「街地区」が 37.3%と他の年代よりも高い割合となっています。

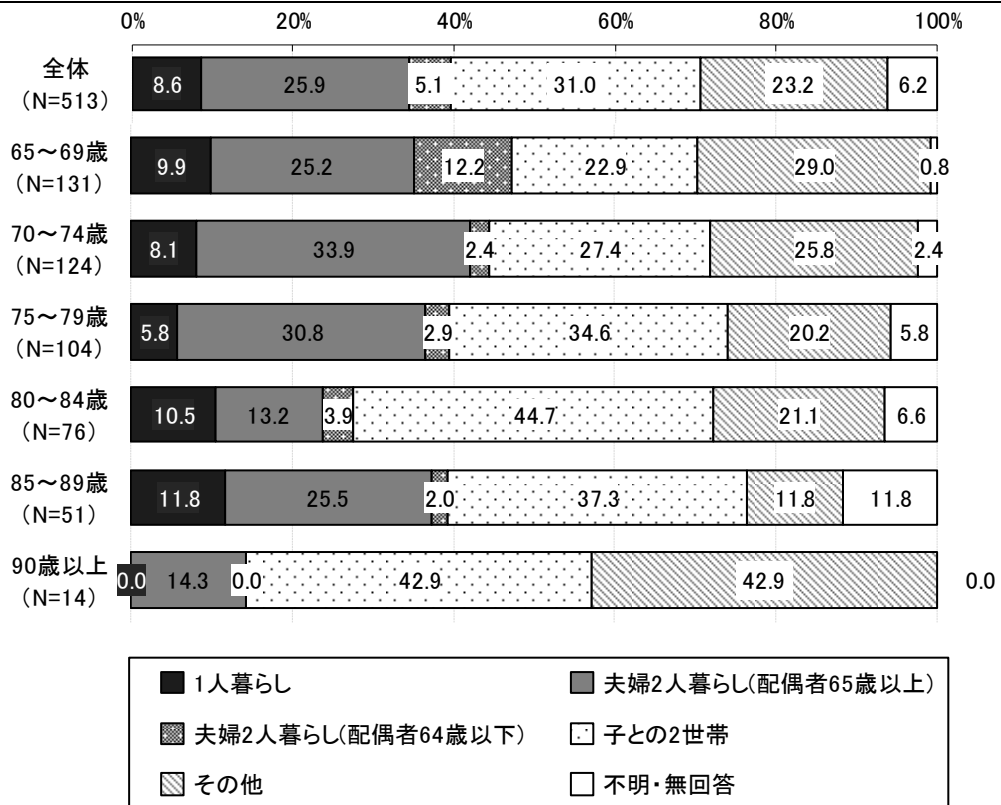


問3 あなたのご家族や生活状況について

問3(1) 家族構成をお教えてください(SA)

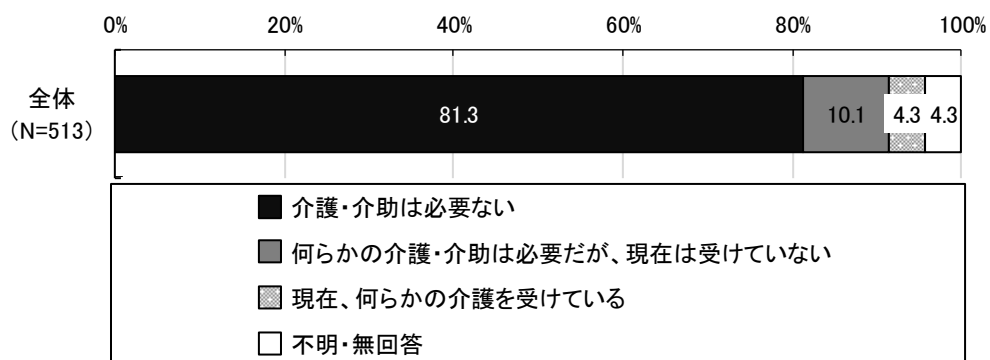
家族構成についてみると、「子どもの2世帯」が31.0%と最も高く、次いで「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」が25.9%、「1人暮らし」が8.6%となっています。

年齢別でみると、80～84歳で「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」の割合が他の年代よりも低くなっています。



問3(2) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか(SA)

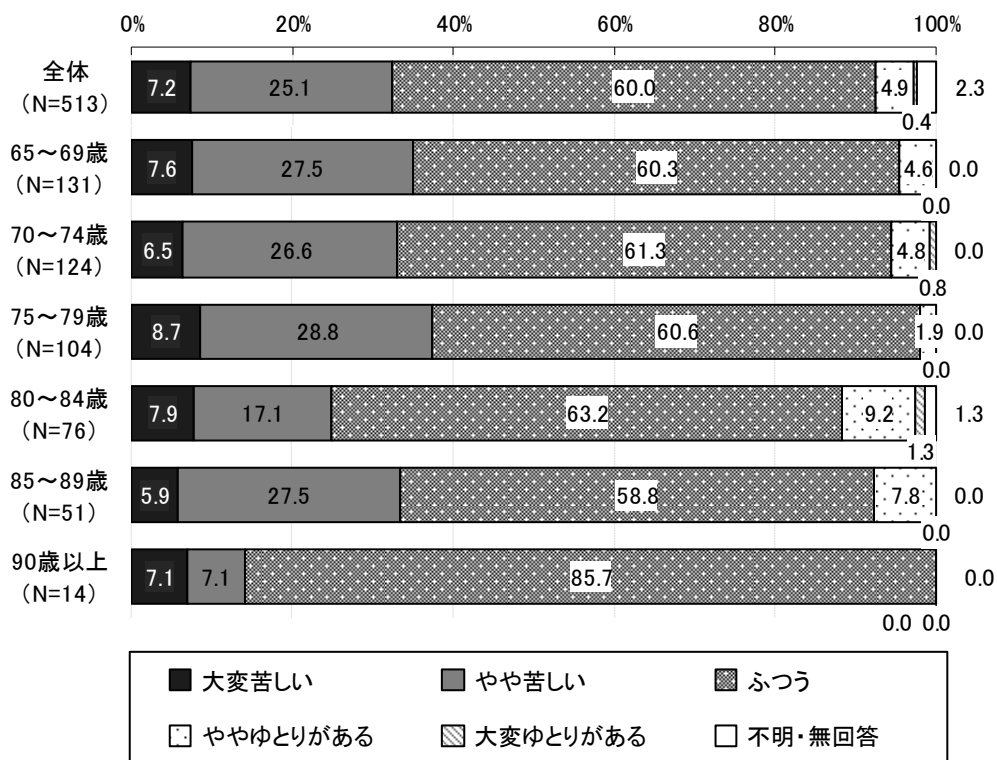
普段の生活で介護・介助が必要かについてみると、「介護・介助は必要ない」が81.3%と最も高く、次いで「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が10.1%、「現在、何らかの介護を受けている」が4.3%となっています。



問 3(3) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか (SA)

現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じているかについてみると、「ふつう」が60.0%と最も高く、次いで「やや苦しい」が25.1%、「大変苦しい」が7.2%となっています。

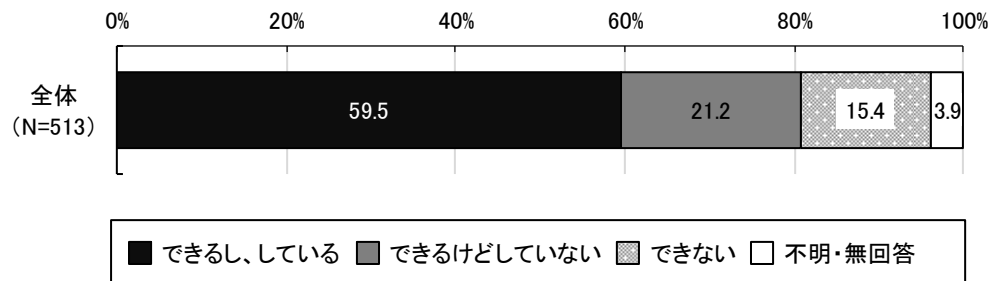
年代別でみると、80～84歳で『経済的に苦しい』（「大変苦しい」「やや苦しい」の合計）が25.0%、90歳以上で14.2%と、他の年代よりも低くなっています。



問4 からだを動かすことについて

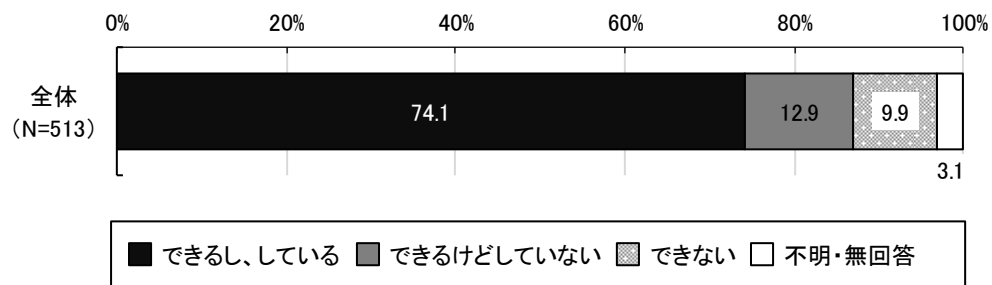
問4(1) 階段を手すりや壁を伝わらずに昇っていますか(SA)

階段を手すりや壁を伝わらずに昇っているかについてみると、「できるし、している」が59.5%と最も高く、次いで「できるけどしていない」が21.2%、「できない」が15.4%となっています。



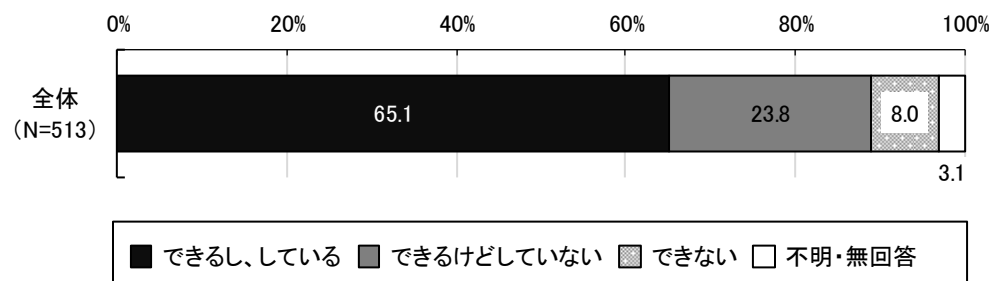
問4(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか(SA)

椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっているかについてみると、「できるし、している」が74.1%と最も高く、次いで「できるけどしていない」が12.9%、「できない」が9.9%となっています。



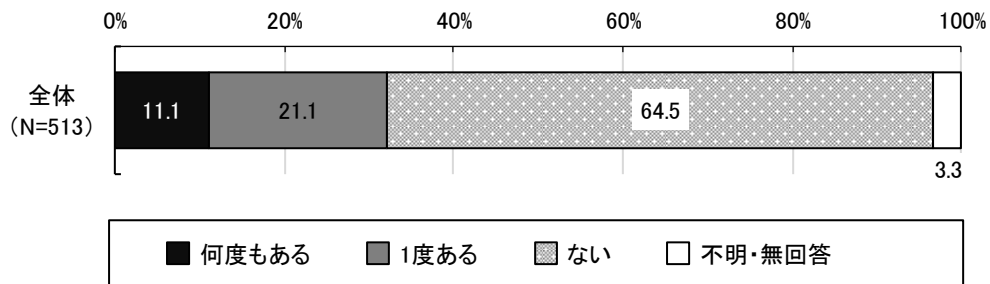
問4(3) 15分位続けて歩いていますか(SA)

15分位続けて歩いているかについてみると、「できるし、している」が65.1%と最も高く、次いで「できるけどしていない」が23.8%、「できない」が8.0%となっています。



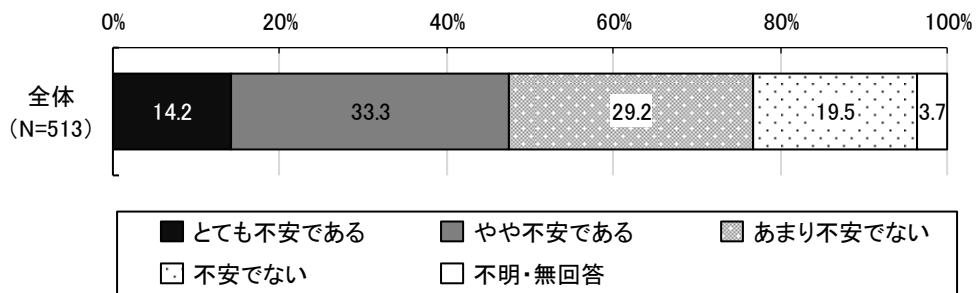
問 4(4) 過去 1 年間に転んだ経験がありますか (SA)

過去 1 年間に転んだ経験があるかについてみると、「ない」が 64.5%と最も高く、次いで「1 度ある」が 21.1%、「何度もある」が 11.1%となっています。



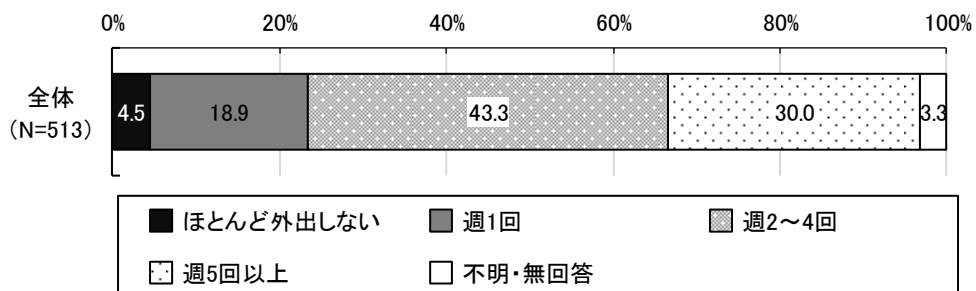
問 4(5) 転倒に対する不安は大きいですか (SA)

転倒に対する不安は大きさについてみると、「やや不安である」が 33.3%と最も高く、次いで「あまり不安でない」が 29.2%、「不安でない」が 19.5%となっています。



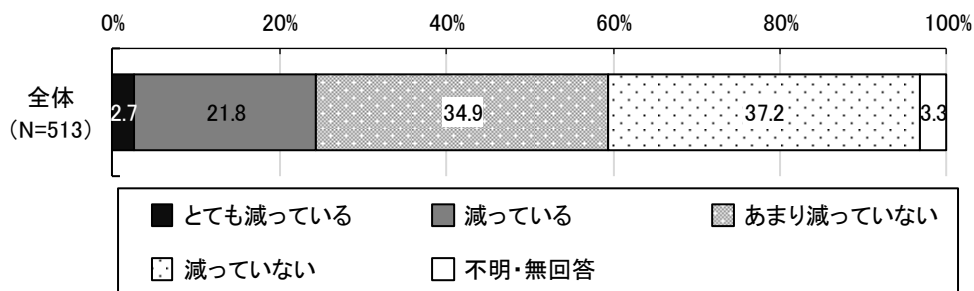
問 4(6) 週に 1 回以上は外出していますか (SA)

週に 1 回以上は外出しているかについてみると、「週 2~4 回」が 43.3%と最も高く、次いで「週 5 回以上」が 30.0%、「週 1 回」が 18.9%となっています。



問 4(7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか(SA)

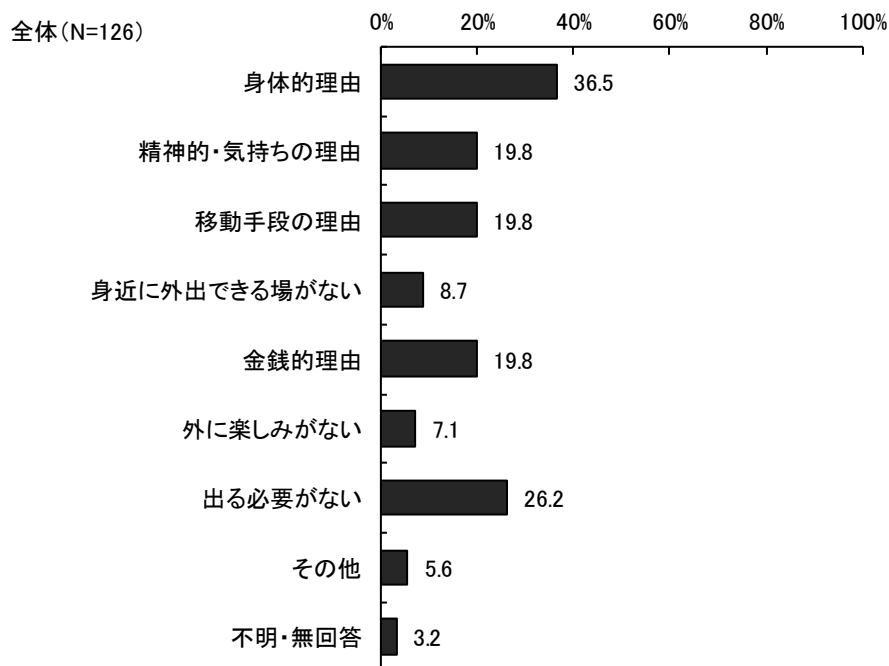
昨年と比べて外出の回数が減っているかについてみると、「減っていない」が 37.2%と最も高く、次いで「あまり減っていない」が 34.9%、「減っている」が 21.8%となっています。



問 4(7)で「1.とても減っている」「2.減っている」と答えた方にお伺いします。

問 4(8) 外出の回数が減っている理由は、次のどれですか(MA)

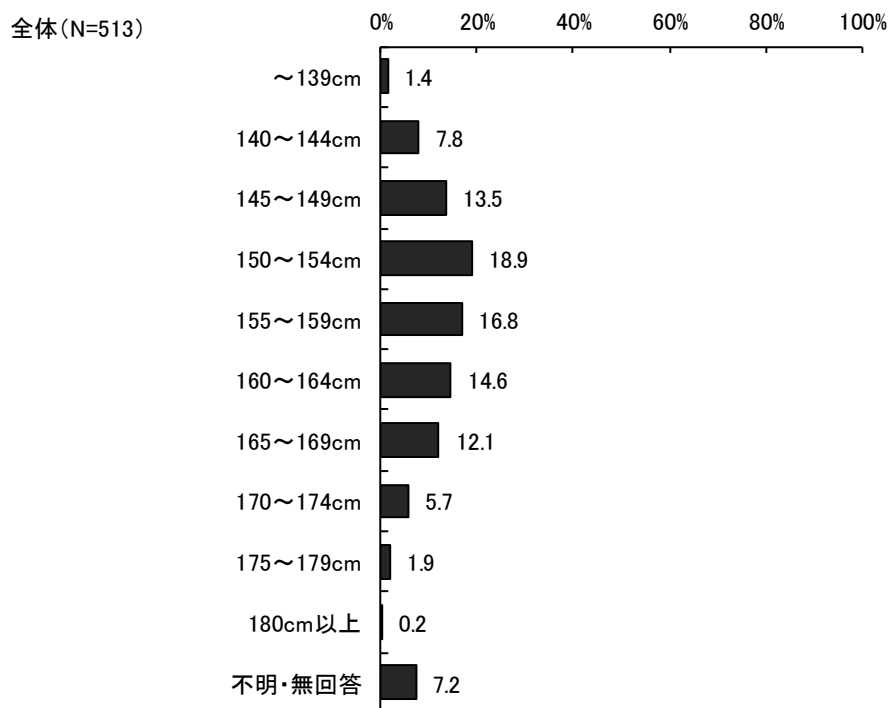
外出の回数が減っている理由についてみると、「身体的理由」が 36.5%と最も高く、次いで「出る必要がない」が 26.2%、「精神的・気持ちの理由」、「移動手段の理由」、「金銭的理由」がそれぞれ 19.8%となっています。



問5 食べることについて

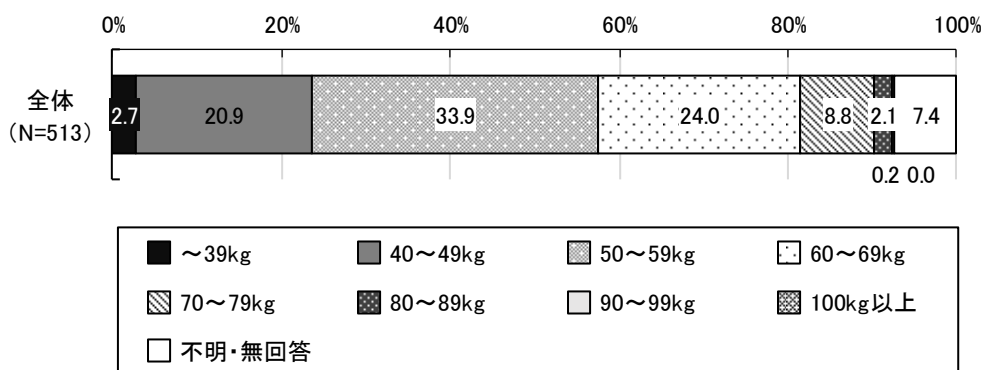
問5(1) 身長（数量）

身長についてみると、「150～154cm」が18.9%と最も高く、次いで「155～159cm」が16.8%、「160～164cm」が14.6%となっています。



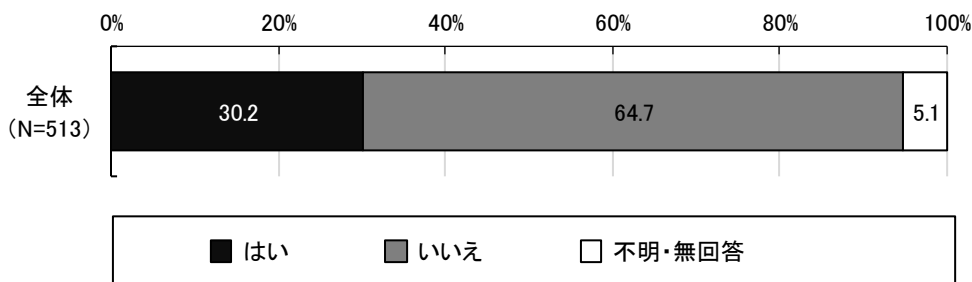
問5(1) 体重（数量）

体重についてみると、「50～59kg」が33.9%と最も高く、次いで「60～69kg」が24.0%、「40～49kg」が20.9%となっています。



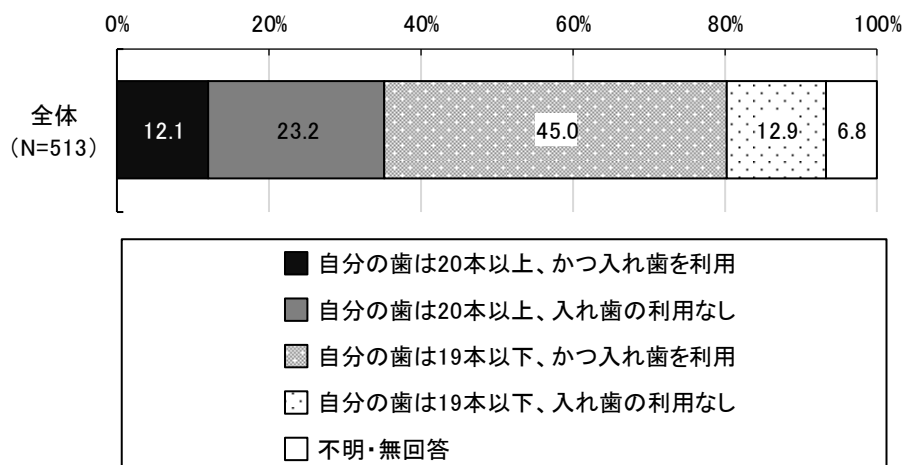
問 5(2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか(SA)

半年前に比べて固いものが食べにくくなったかについてみると、「いいえ」が 64.7%、「はい」が 30.2%となっています。



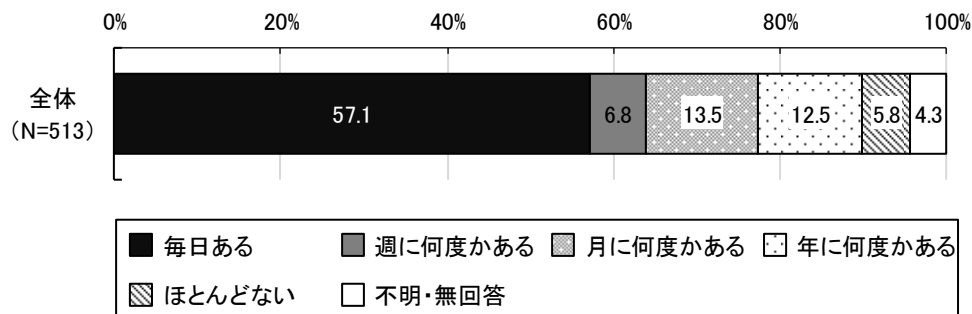
問 5(3) 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください(SA)

歯の数と入れ歯の利用状況についてみると、「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」が 45.0%と最も高く、次いで「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」が 23.2%、「自分の歯は 19 本以下、入れ歯の利用なし」が 12.9%となっています。



問 5(4) どなたかと食事をとる機会がありますか(SA)

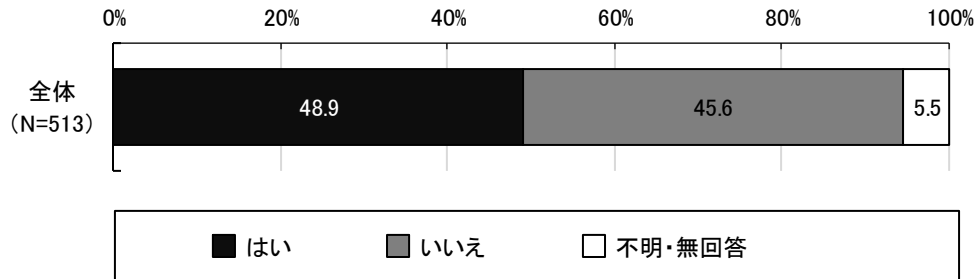
どなたかと食事をとる機会はあるかについてみると、「毎日ある」が 57.1%と最も高く、次いで「月に何度かある」が 13.5%、「年に何度かある」が 12.5%となっています。



問6 毎日の生活について

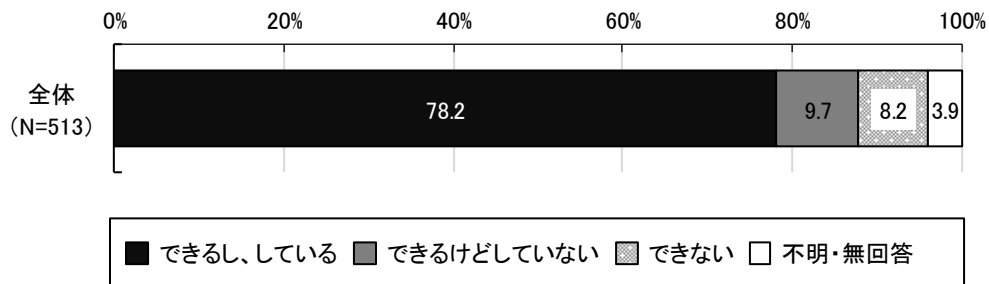
問6(1) 物忘れが多いと感じますか(SA)

物忘れが多いと感じるかについてみると、「はい」が48.9%、「いいえ」が45.6%となっています。



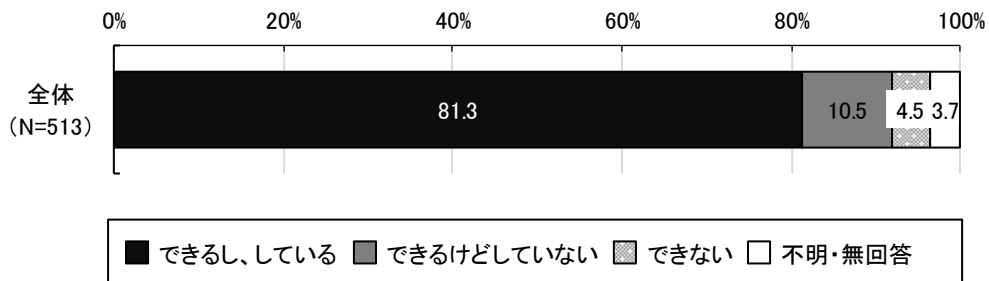
問6(2) バスや電車を使って1人で外出していますか(自家用車でも可)(SA)

バスや電車を使って1人で外出しているか(自家用車でも可)についてみると、「できるし、している」が78.2%と最も高く、次いで「できるけどしていない」が9.7%、「できない」が8.2%となっています。



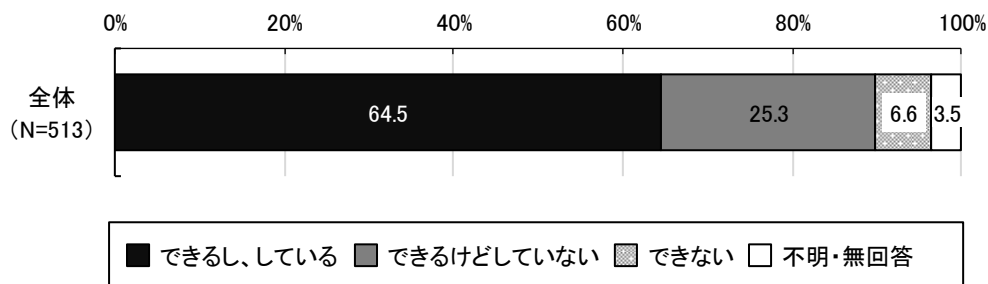
問6(3) 自分で食品・日用品の買い物をしていますか(SA)

自分で食品・日用品の買い物をしているかについてみると、「できるし、している」が81.3%と最も高く、次いで「できるけどしていない」が10.5%、「できない」が4.5%となっています。



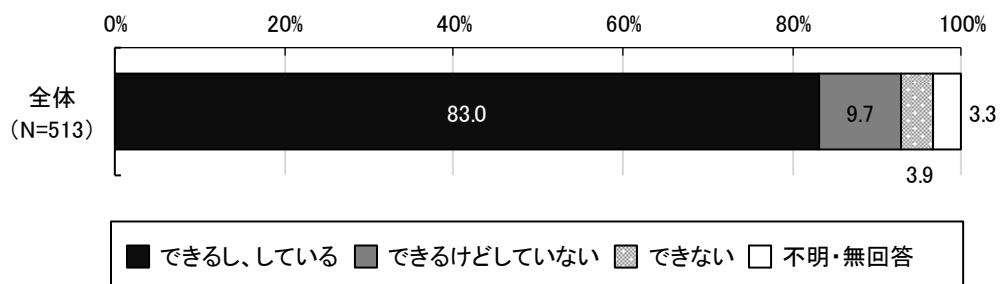
問 6(4) 自分で食事の用意をしていますか(SA)

自分で食事の用意をしているかについてみると、「できるし、している」が64.5%と最も高く、次いで「できるけどしていない」が25.3%、「できない」が6.6%となっています。



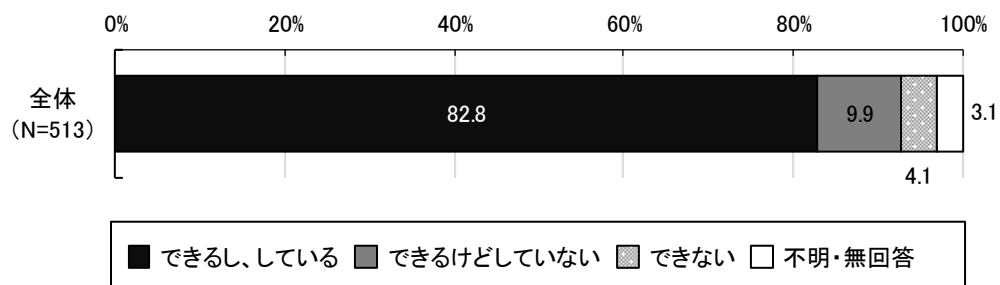
問 6(5) 自分で請求書の支払いをしていますか(SA)

自分で請求書の支払いをしているかについてみると、「できるし、している」が83.0%と最も高く、次いで「できるけどしていない」が9.7%、「できない」が3.9%となっています。



問 6(6) 自分で預貯金の出し入れをしていますか(SA)

自分で預貯金の出し入れをしているかについてみると、「できるし、している」が82.8%と最も高く、次いで「できるけどしていない」が9.9%、「できない」が4.1%となっています。

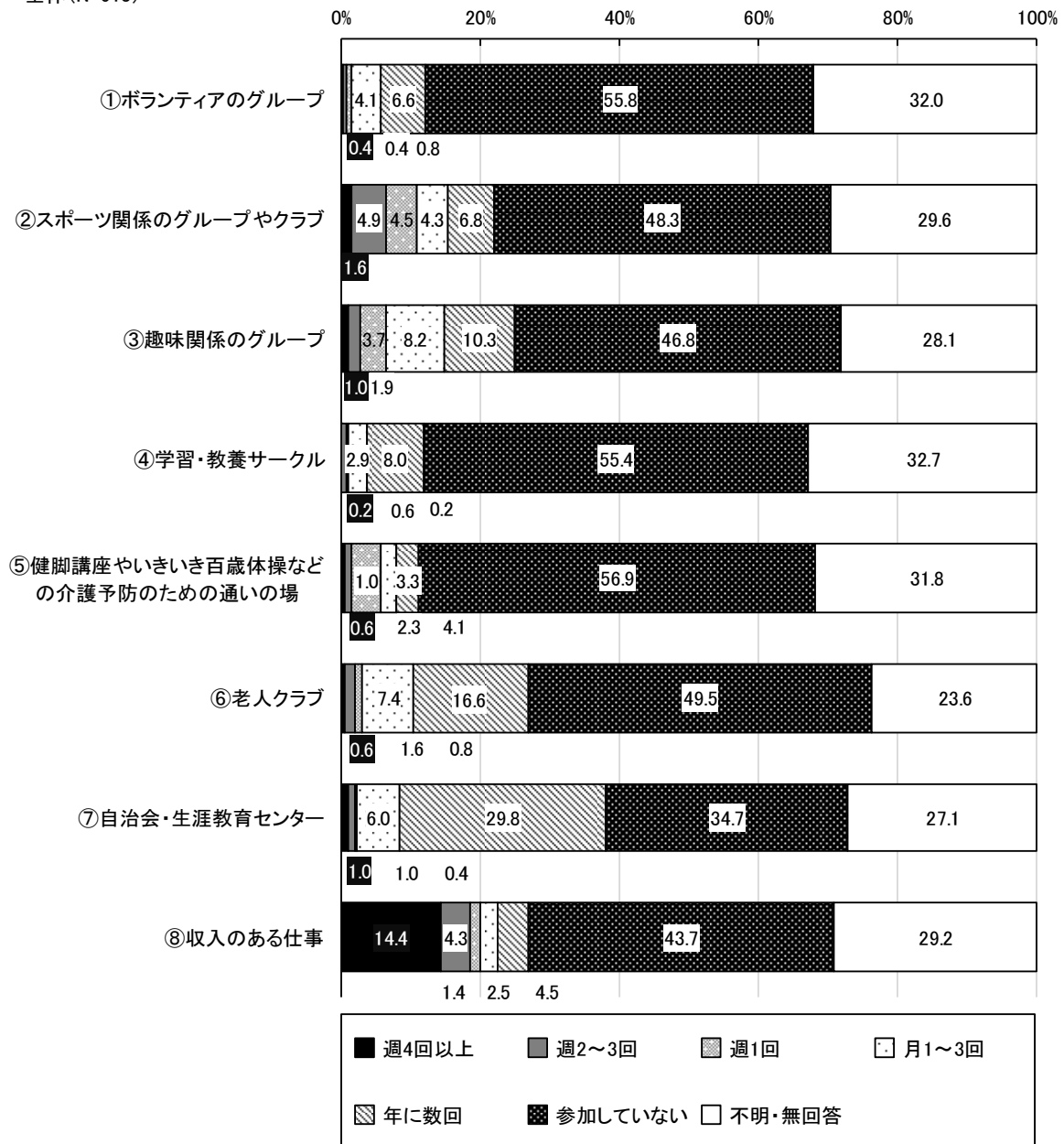


問7 地域での活動について

問7(1) 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか(SA)

【②スポーツ関係のグループやクラブ】【③趣味関係のグループ】【⑥老人クラブ】【⑦自治会・生涯教育センター】【⑧収入のある仕事】では『参加している』(「週4回以上」「週2~3回」「週1回」「月1~3回」「年に数回」の合計)が2割以上となっており、【①ボランティアのグループ】【②スポーツ関係のグループやクラブ】【④学習・教養サークル】【⑤健脚講座やいきいき百歳体操などの介護予防のための通いの場】は「参加していない」が5割以上となっています。

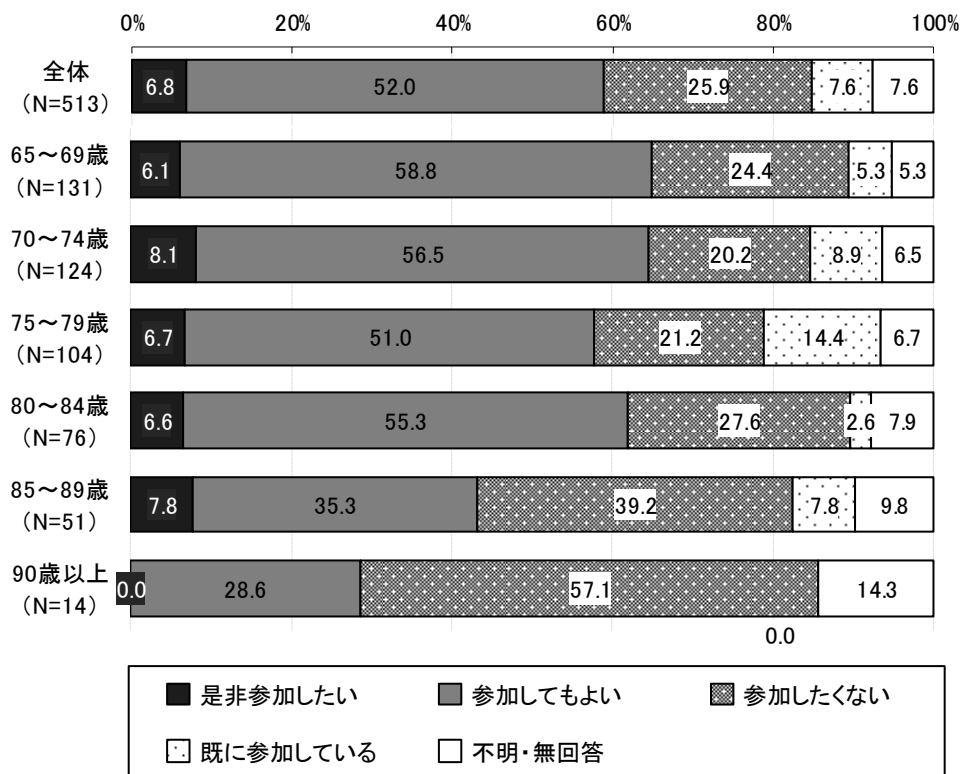
全体(N=513)



問 7(2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか(SA)

地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、その活動に参加者として参加してみたいと思うかについてみると、「参加してもよい」が 52.0%と最も高く、次いで「参加したくない」が 25.9%、「既に参加している」が 7.6%となっています。

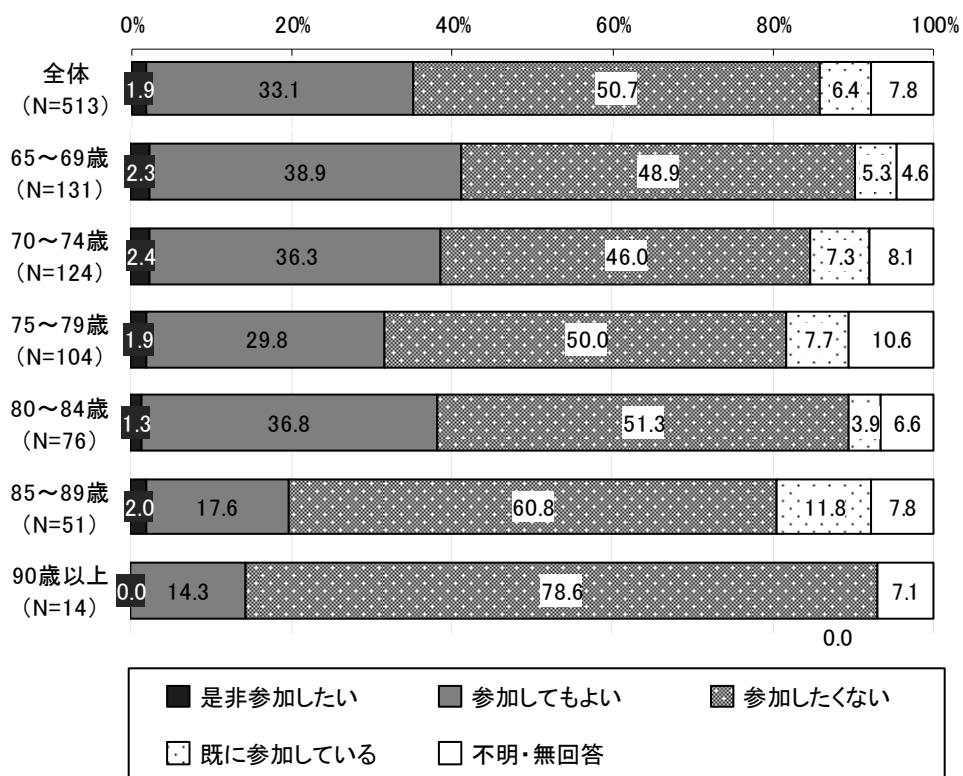
年代別でみると 65～84 歳までの方は「参加してもよい」が 5 割台となっており、85 歳以上では 3 割台以下となっています。



問 7(3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思いますか(SA)

地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、その活動に企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思うかについてみると、「参加したくない」が 50.7%と最も高く、次いで「参加してもよい」が 33.1%、「既に参加している」が 6.4%となっています。

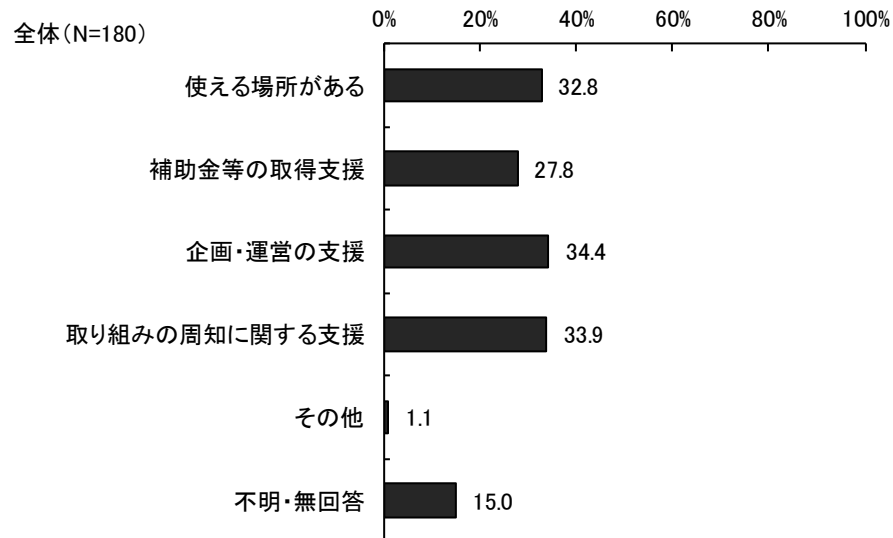
年代別でみると 65～84 歳までの方は「参加してもよい」がおよそ 3 割台となっており、85 歳以上では 1 割台となっています。



問 7(3)で「1.是非参加したい」「2.参加してもよい」と答えた方にお伺いします。

問 7(4) 自分たちが企画・運営するうえで助けとなるものは何ですか(MA)

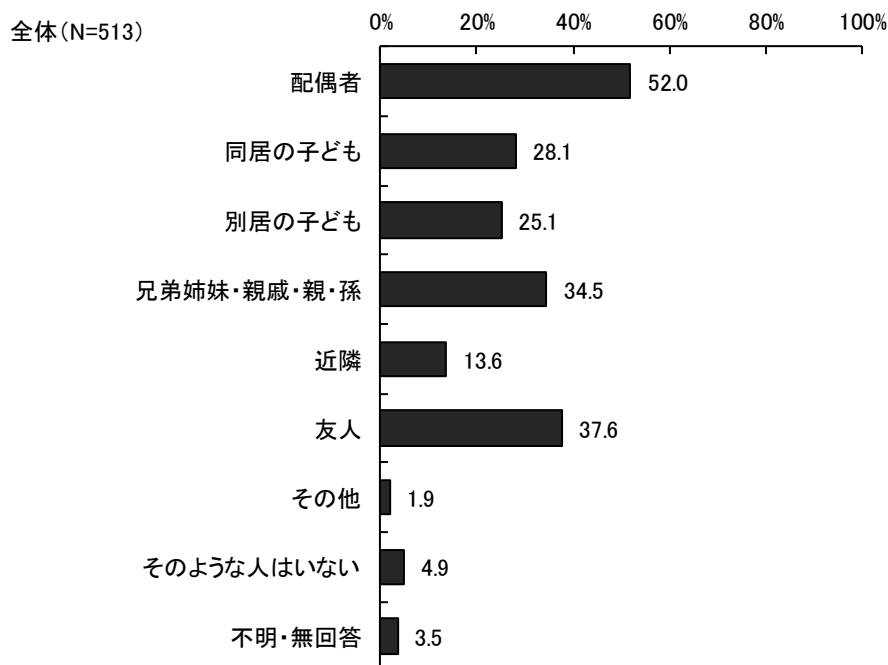
自分たちが企画・運営するうえで助けとなるものについてみると、「企画・運営の支援」が 34.4%と最も高く、次いで「取り組みの周知に関する支援」が 33.9%、「使える場所がある」が 32.8%となっています。



問8 たすけあいについて

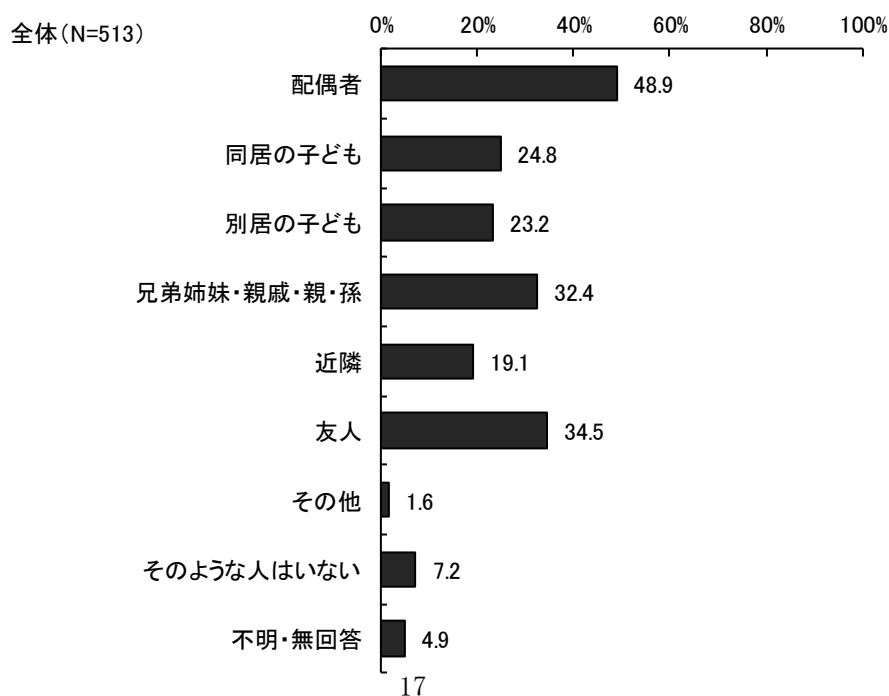
問8(1) あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人は誰ですか(MA)

あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人についてみると、「配偶者」が52.0%と最も高く、次いで「友人」が37.6%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が34.5%となっています。



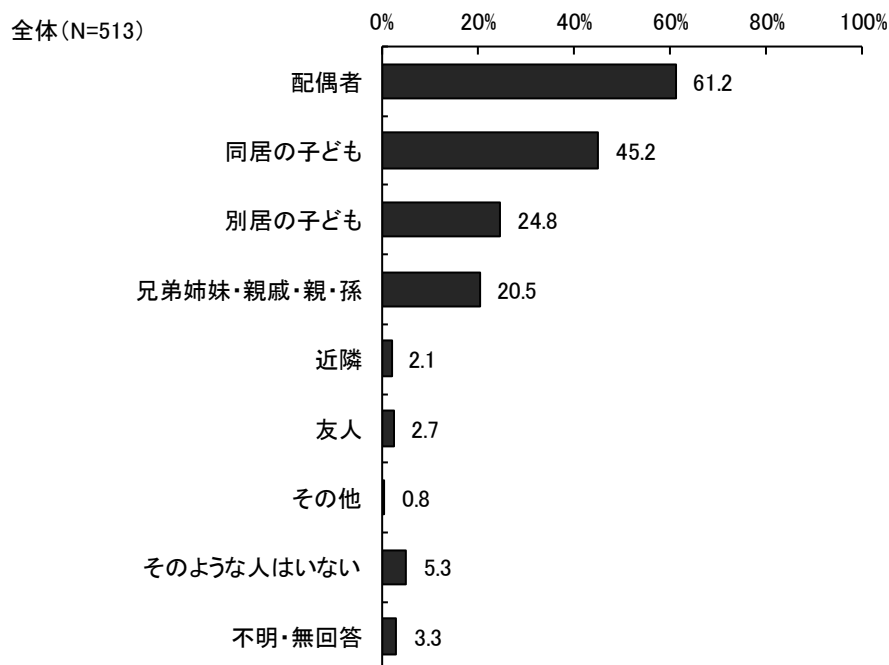
問8(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人は誰ですか(MA)

反対に、あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人についてみると、「配偶者」が48.9%と最も高く、次いで「友人」が34.5%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が32.4%となっています。



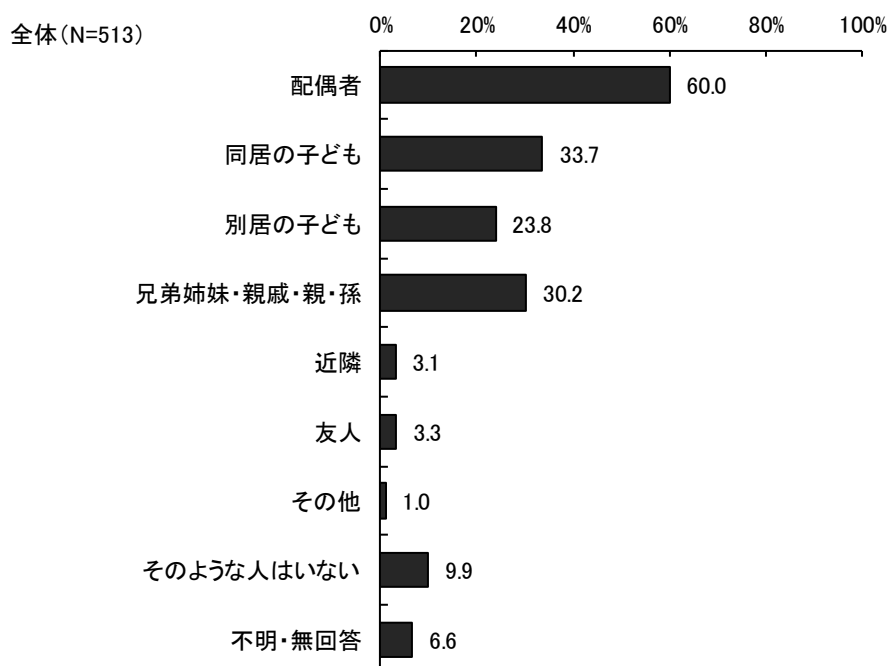
問 8(3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人は誰ですか (MA)

あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人についてみると、「配偶者」が 61.2%と最も高く、次いで「同居の子ども」が 45.2%、「別居の子ども」が 24.8%となっています。



問 8(4) 反対に、看病や世話をしてあげる人は誰ですか (MA)

反対に、看病や世話をしてあげる人についてみると、「配偶者」が 60.0%と最も高く、次いで「同居の子ども」が 33.7%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が 30.2%となっています。

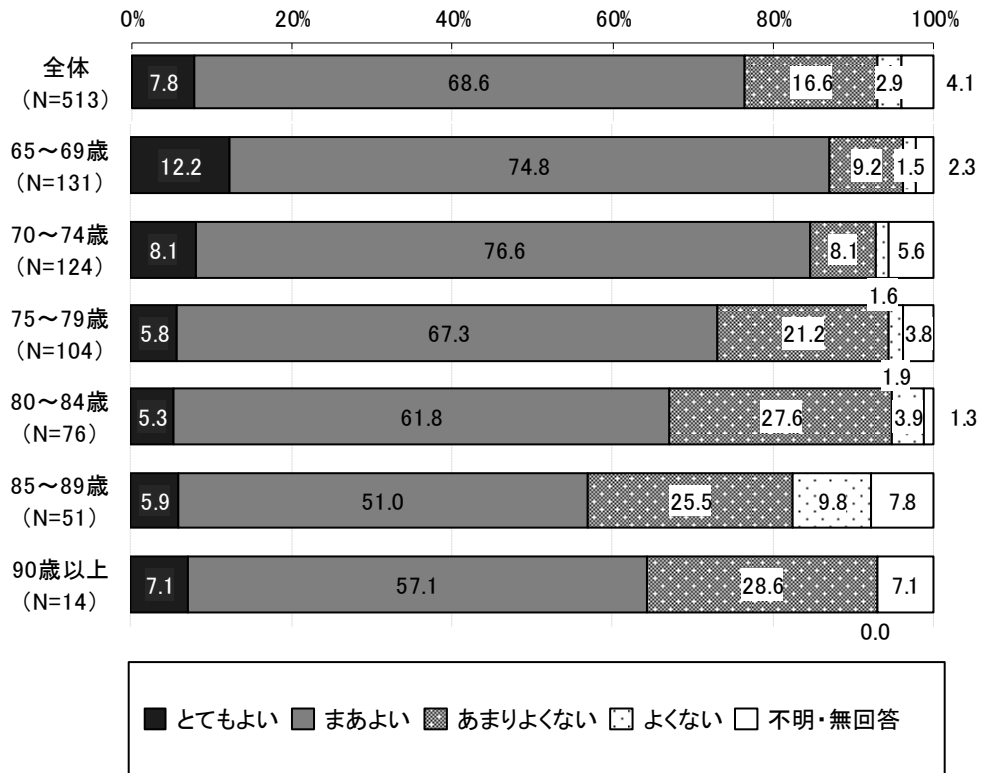


問9 健康について

問9(1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか(SA)

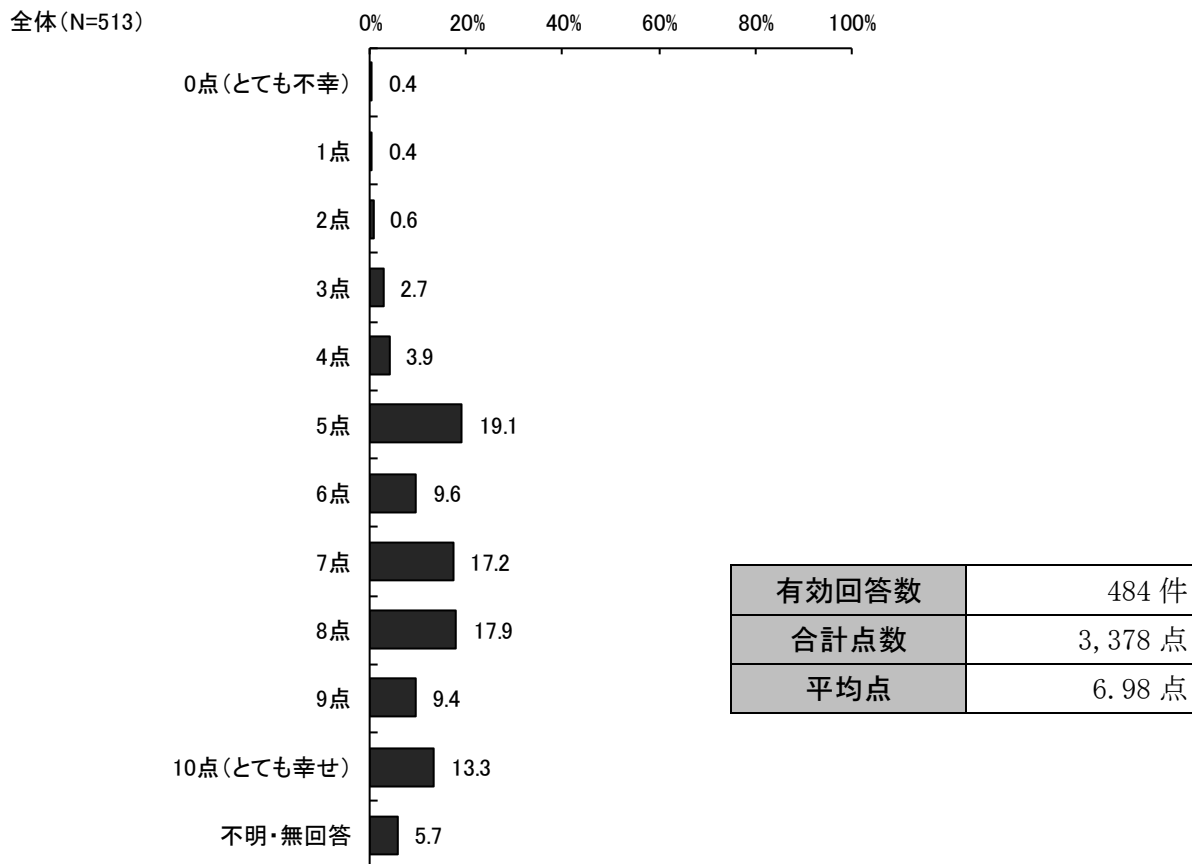
現在のあなたの健康状態についてみると、「まあよい」が68.6%と最も高く、次いで「あまりよくない」が16.6%、「とてもよい」が7.8%となっています。

年代別では、年代が高くなるにつれて、『健康である』（「とてもよい」「まあよい」の合計）の割合が概ね減少しています。



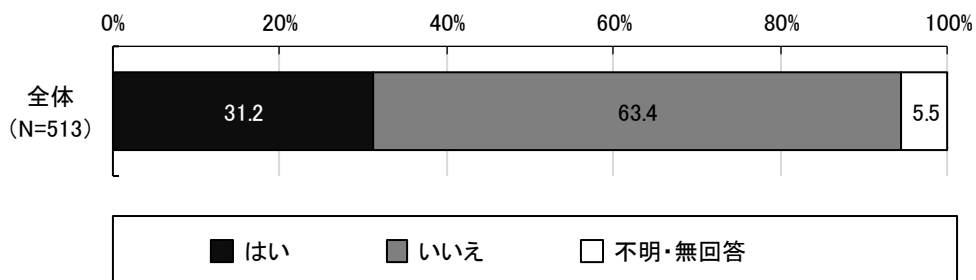
問 9(2) あなたは、現在どの程度幸せですか。(数量)

あなたは、現在どの程度幸せかについてみると、「5点」が19.1%と最も高く、次いで「8点」が17.9%、「7点」が17.2%となっています。



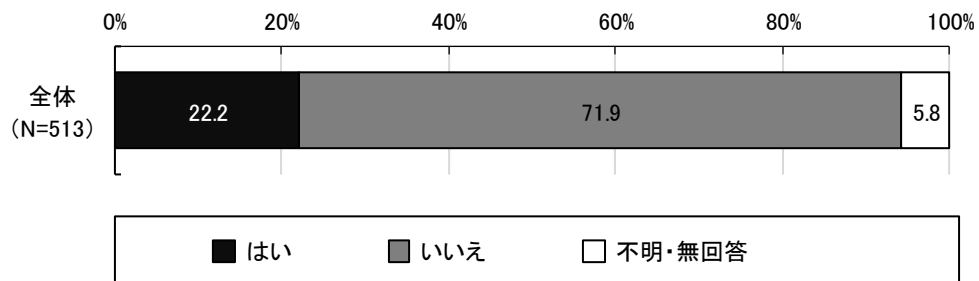
問 9(3) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか (SA)

この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがあるかについてみると、「いいえ」が63.4%、「はい」が31.2%となっています。



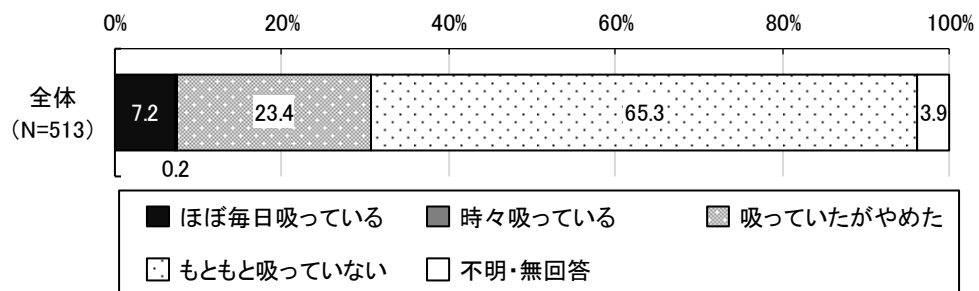
問 9(4) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか(SA)

この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくあるかについてみると、「いいえ」が71.9%、「はい」が22.2%となっています。



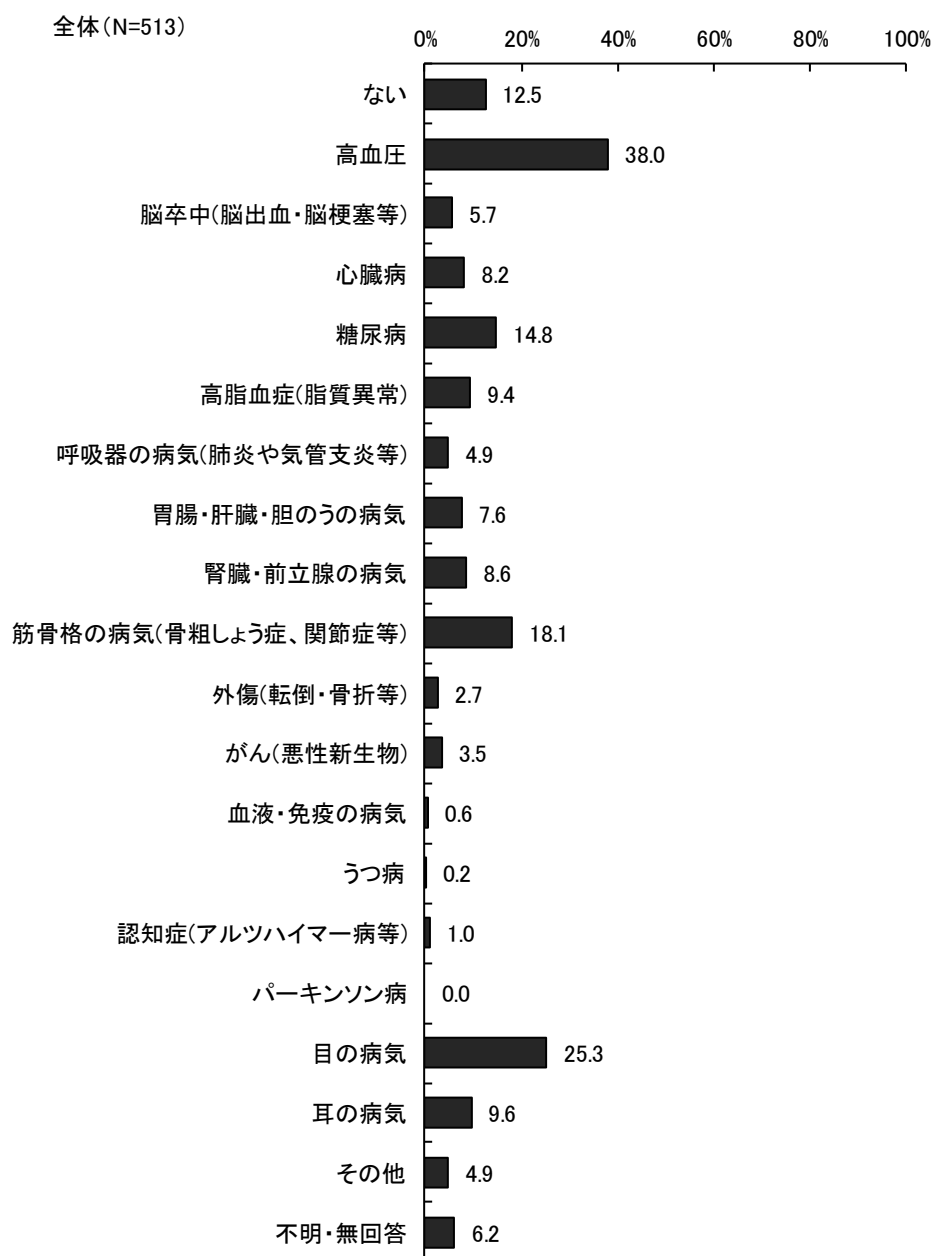
問 9(5) タバコは吸っていますか(SA)

タバコは吸っているかについてみると、「もともと吸っていない」が65.3%と最も高く、次いで「吸っていたがやめた」が23.4%、「ほぼ毎日吸っている」が7.2%となっています。



問 9(6) 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか (MA)

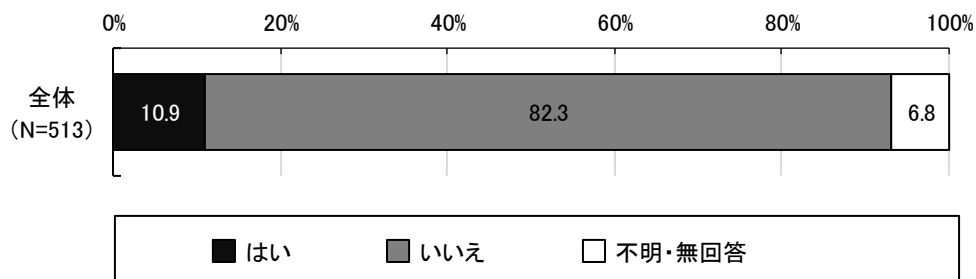
現在治療中、または後遺症がある病気はあるかについてみると、「高血圧」が 38.0%と最も高く、次いで「目の病気」が 25.3%、「筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等)」が 18.1%となっています。



問 10 認知症にかかる相談窓口の把握について

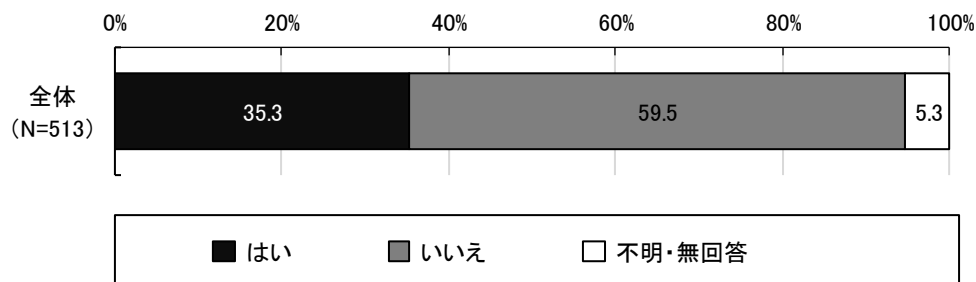
問 10(1) 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか (SA)

認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいるかについてみると、「いいえ」が 82.3%、「はい」が 10.9%となっています。



問 10(2) 認知症に関する相談窓口を知っていますか (SA)

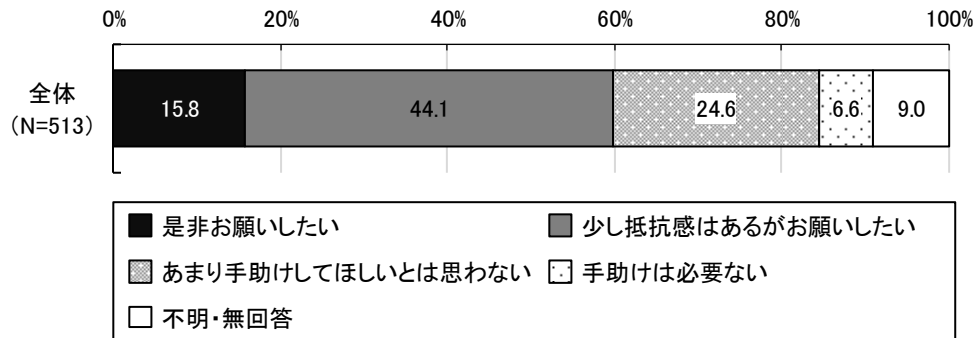
認知症に関する相談窓口を知っているかについてみると、「いいえ」が 59.5%、「はい」が 35.3%となっています。



問 11 今後の意向等について

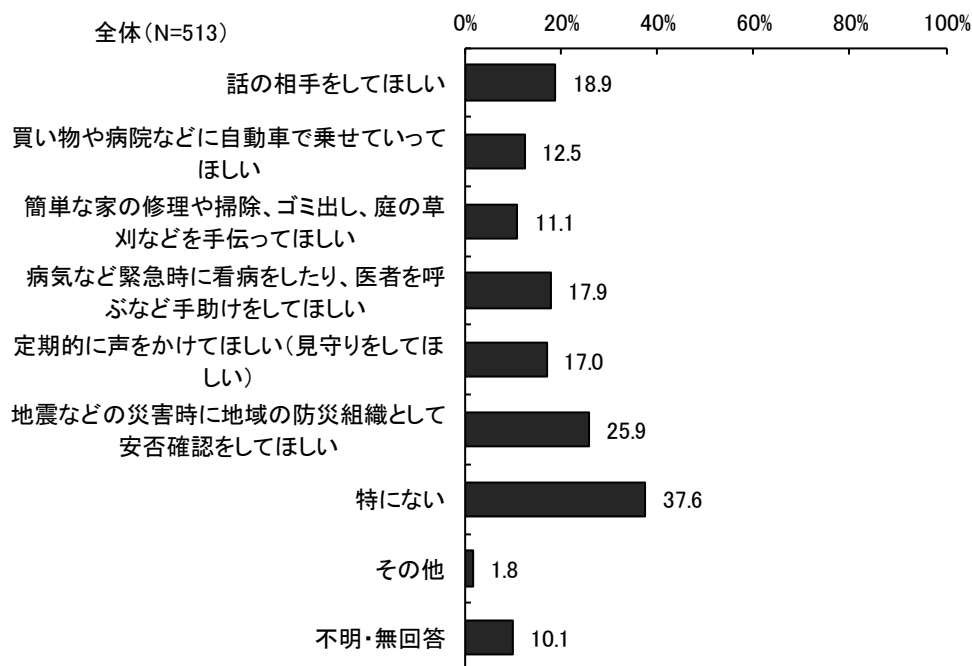
問 11(1) あなたやご家族が日常生活で介助や支援が必要になった場合、地域の方などから手助けしてもらうことについてどのように思いますか(SA)

あなたやご家族が日常生活で介助や支援が必要になった場合、地域の方などから手助けしてもらうことについてどのように思うかについてみると、「少し抵抗感はあるがお願いしたい」が44.1%と最も高く、次いで「あまり手助けしてほしいとは思わない」が24.6%、「是非お願いしたい」が15.8%となっています。



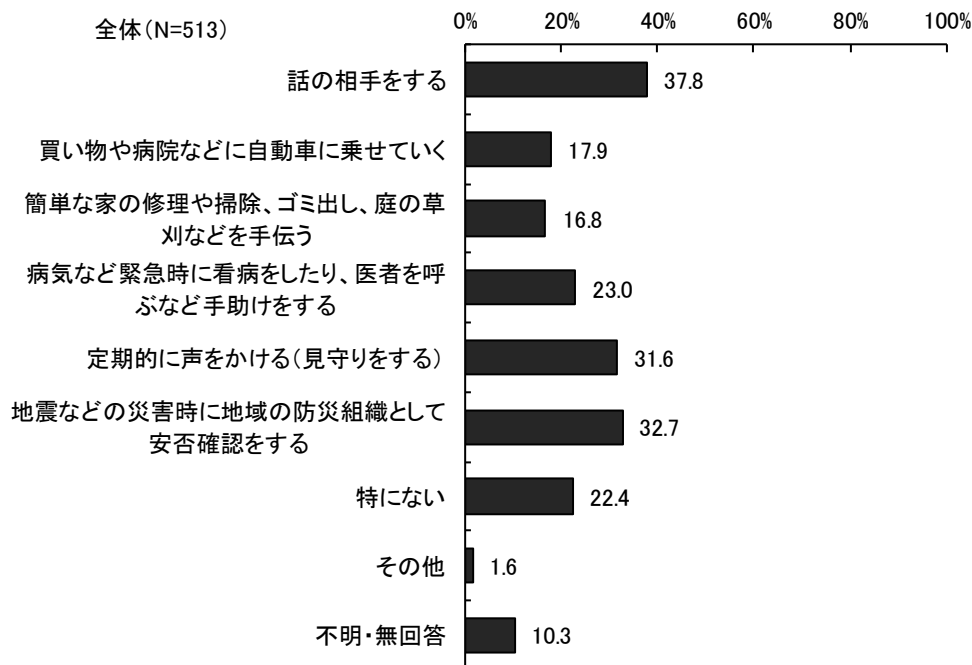
問 11(2) 今後、地域の方とのお付き合いのなかで、手助けをしてほしいと思うことはありますか(MA)

今後、地域の方とのお付き合いのなかで、手助けをしてほしいと思うことはあるかについてみると、「特にない」が37.6%と最も高く、次いで「地震などの災害時に地域の防災組織として安否確認をしてほしい」が25.9%、「話の相手をしてほしい」が18.9%となっています。



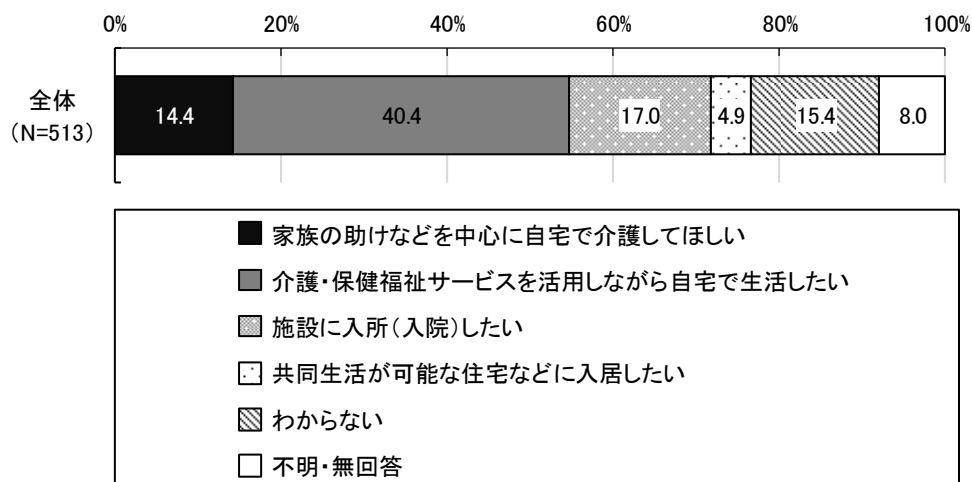
問 11(3) 今後、地域の方とのお付き合いのなかで、手助けできることはありますか(MA)

今後、地域の方とのお付き合いのなかで、手助けできることはあるかについてみると、「話の相手をする」が37.8%と最も高く、次いで「地震などの災害時に地域の防災組織として安否確認をする」が32.7%、「定期的に声をかける(見守りをする)」が31.6%となっています。



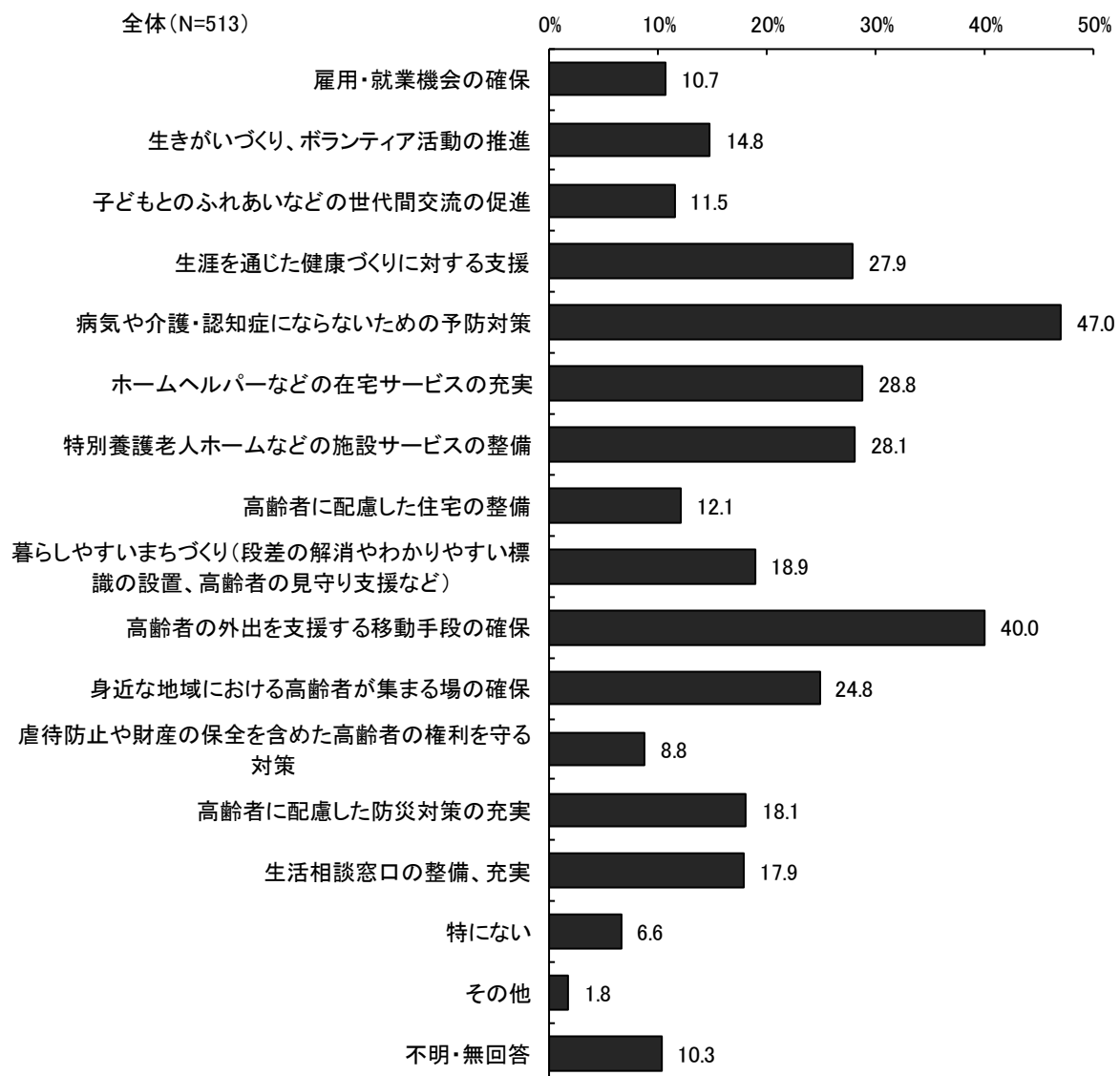
問 11(4) 今後、介護が必要になった場合、どのように暮らしたいと思いますか(SA)

今後、介護が必要になった場合、どのように暮らしたいと思うかについてみると、「介護・保健福祉サービスを活用しながら自宅で生活したい」が40.4%と最も高く、次いで「施設に入所(入院)したい」が17.0%、「わからない」が15.4%となっています。



問 11(5) 今後の高齢者に対する施策として、あなたはどのような点に重点を置くべきだと思いますか(MA)

今後の高齢者に対する施策として、どのような点に重点を置くべきだと思うかについてみると、「病気や介護・認知症にならないための予防対策」が47.0%と最も高く、次いで「高齢者の外出を支援する移動手段の確保」が40.0%、「ホームヘルパーなどの在宅サービスの充実」が28.8%となっています。



III 生活機能評価項目別の分析結果

1. 要支援リスク判定

アンケート調査の回答結果に基づき、以下の5項目について、要支援となるリスクがどの程度あるかを算出しました。判定項目および判定方法は以下の通りです。

判定項目および判定方法

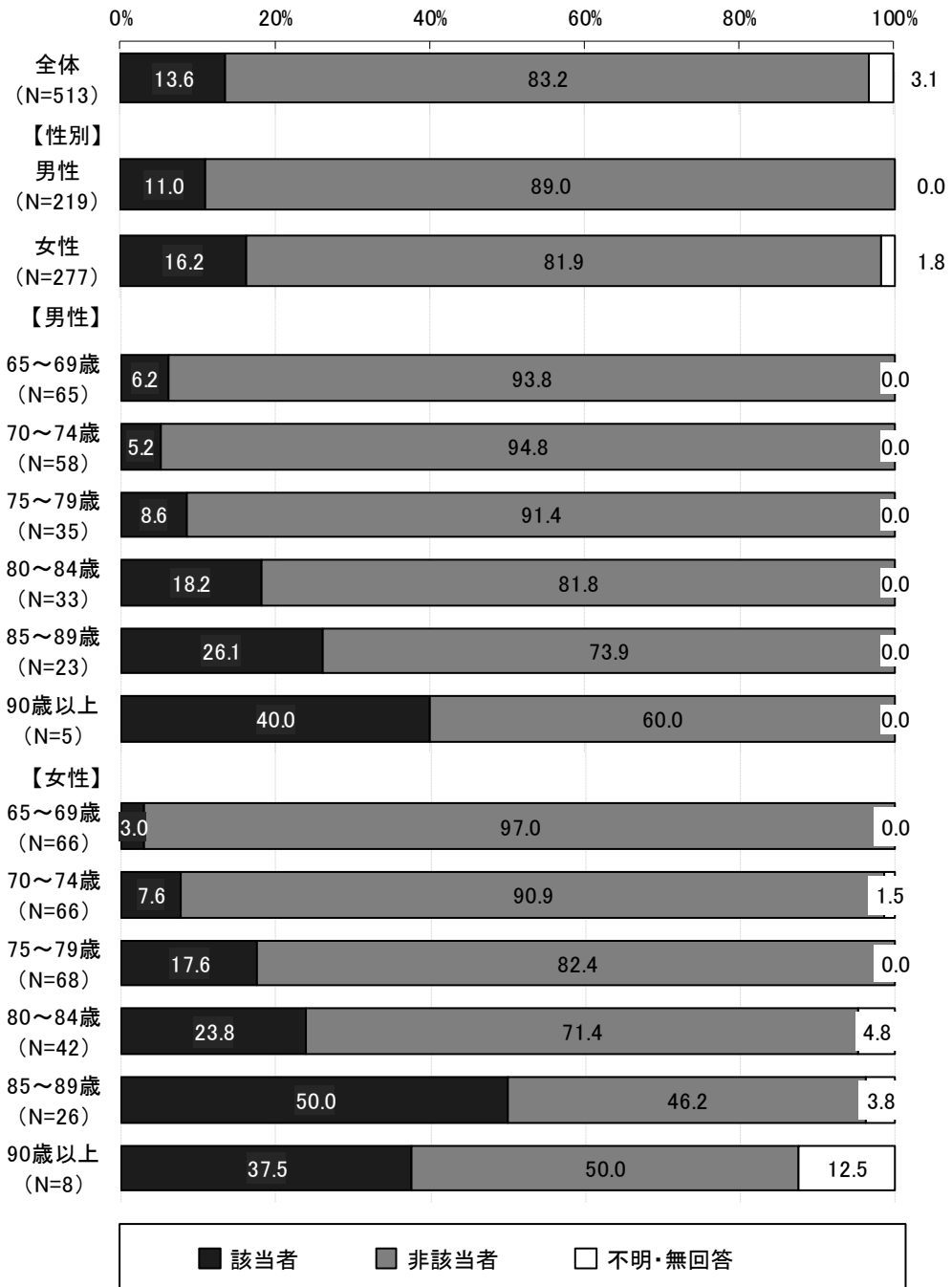
項目	判定の基となる設問	
(1)運動の状況	問4(1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか 問4(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか 問4(3) 15分位続けて歩いていますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
	問4(4) 過去1年間に転んだ経験がありますか	1. 何度もある 2. 1度ある 3. ない
	問4(5) 転倒に対する不安は大きいですか	1. とても不安である 2. やや不安である 3. あまり不安でない 4. 不安でない
該当する選択肢（網掛けの箇所）が3問以上回答された場合リスクあり		
(2)転倒リスク	問4(4) 過去1年間に転んだ経験がありますか	1. 何度もある 2. 1度ある 3. ない
該当する選択肢（網掛けの箇所）が回答された場合リスクあり		
(3)外出・閉じこもり	問4(6) 週に1回以上は外出していますか	1. ほとんど外出しない 2. 週1回 3. 週2～3回 4. 週5回以上
該当する選択肢（網掛けの箇所）が回答された場合リスクあり		
(4)認知	問6(1) 物忘れが多いと感じますか	1. はい 2. いいえ
該当する選択肢（網掛けの箇所）が回答された場合リスクあり		
(5)心(うつ)	問9(3) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか	1. はい 2. いいえ
	問9(4) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか	
該当する選択肢（網掛けの箇所）が一つでも回答された場合リスクあり		
(6)咀嚼	問5(2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	1. はい 2. いいえ
	該当する選択肢（網掛けの箇所）が回答された場合リスクあり	

(1) 運動の状況

運動の状況についてみると、「非該当者」が83.2%、「該当者」が13.6%となっています。

男女別では、女性の方が「該当者」の割合が高くなっています。

年齢別でみると、男性、女性ともに年齢が高くなるにつれて「該当者」の割合が高くなっています。

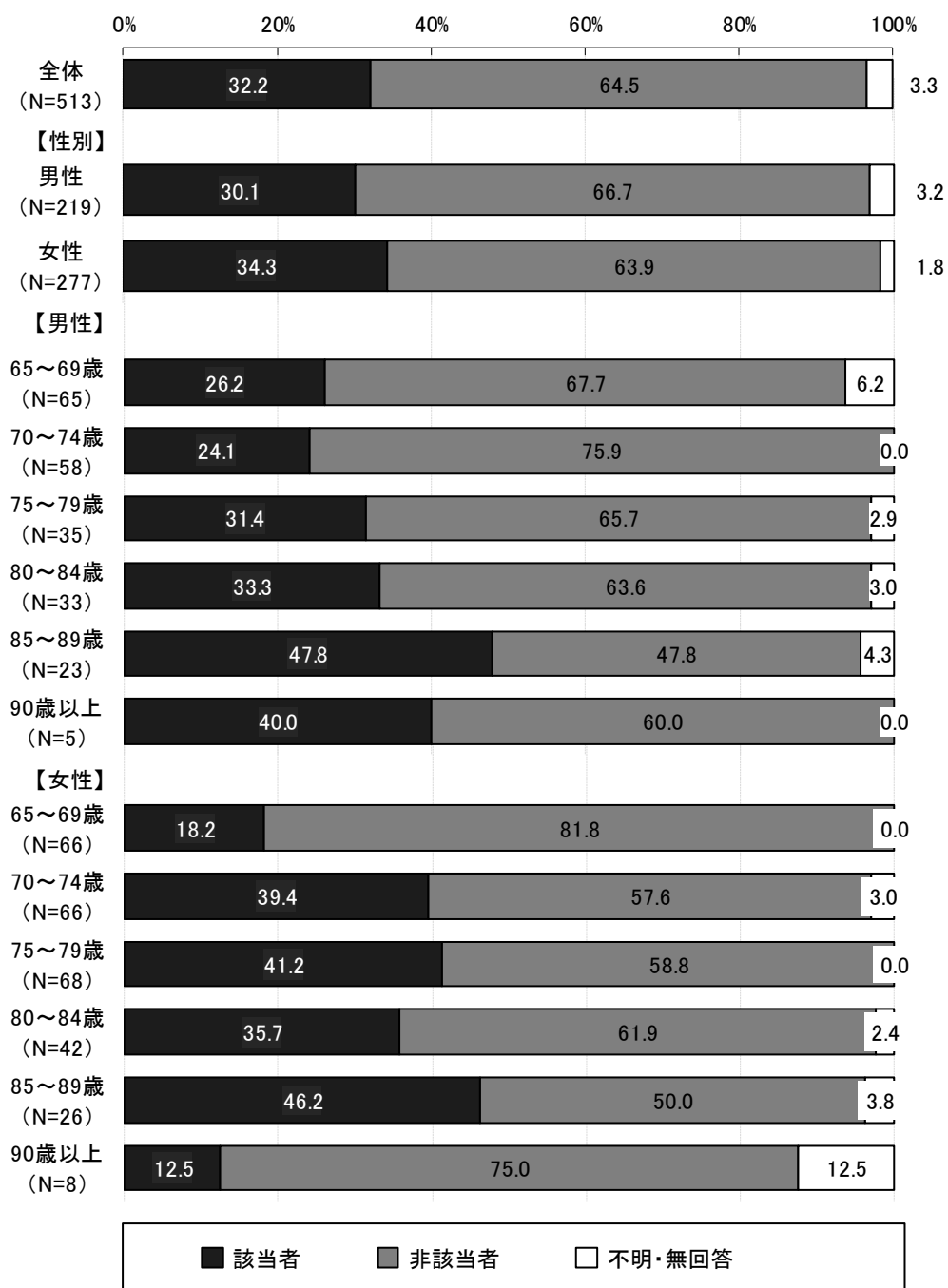


(2) 転倒

転倒についてみると、「非該当者」が64.5%、「該当者」が32.2%となっています。

男女別では、女性の方が「該当者」の割合が高くなっています。

年齢別でみると、男性では年齢が高くなるにつれて「該当者」の割合が高くなっています。女性では70歳以上で「該当者」の割合が4割台前後で推移しており、おおむね横ばいとなっています。

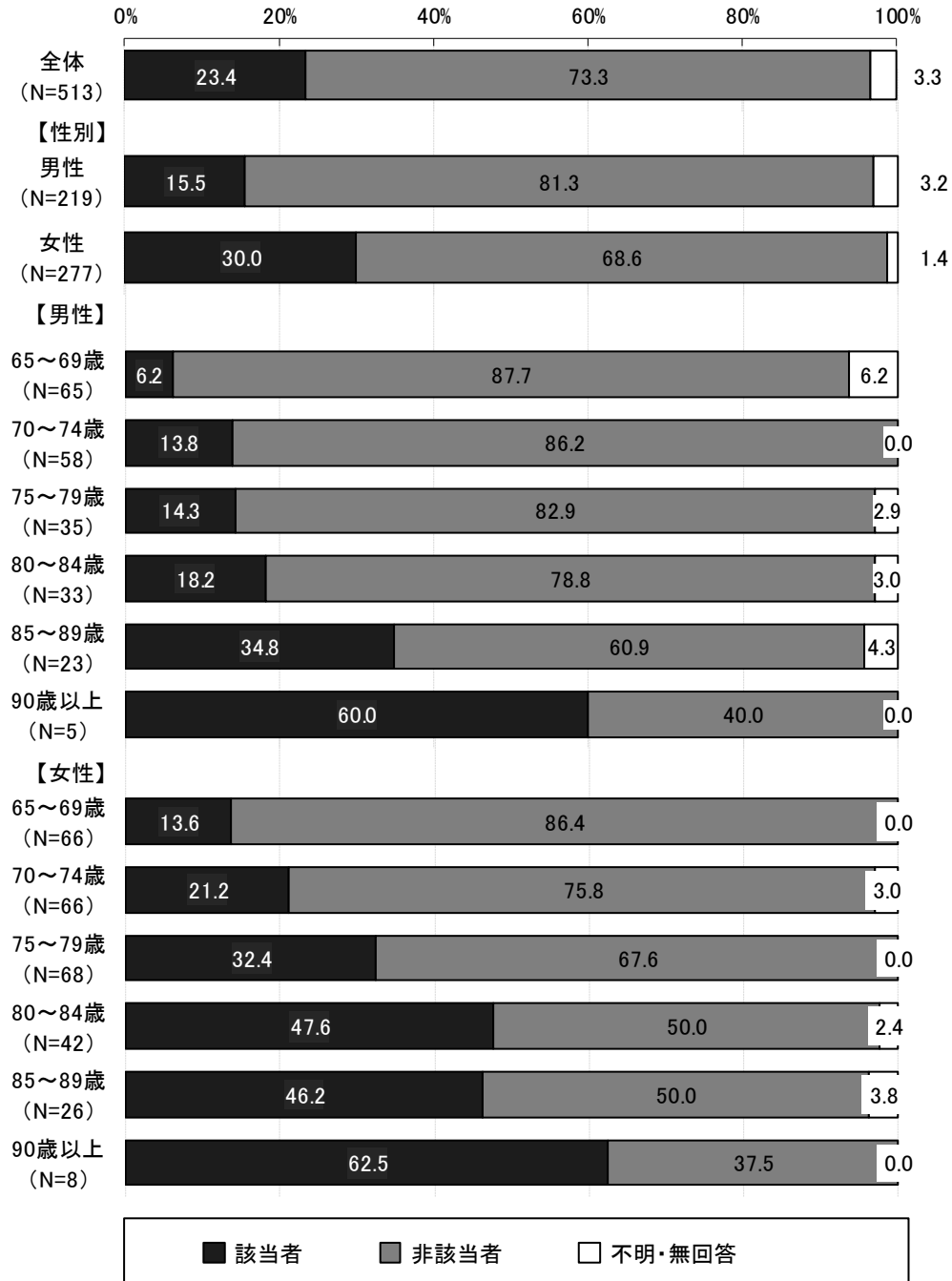


(3) 外出・閉じこもり

外出・閉じこもりについてみると、「非該当者」が73.3%、「該当者」が23.4%となっています。

男女別では、女性の方が「該当者」の割合が高くなっています。

年齢別でみると、男性、女性ともに年齢が高くなるにつれて「該当者」の割合が高くなる傾向にあります。

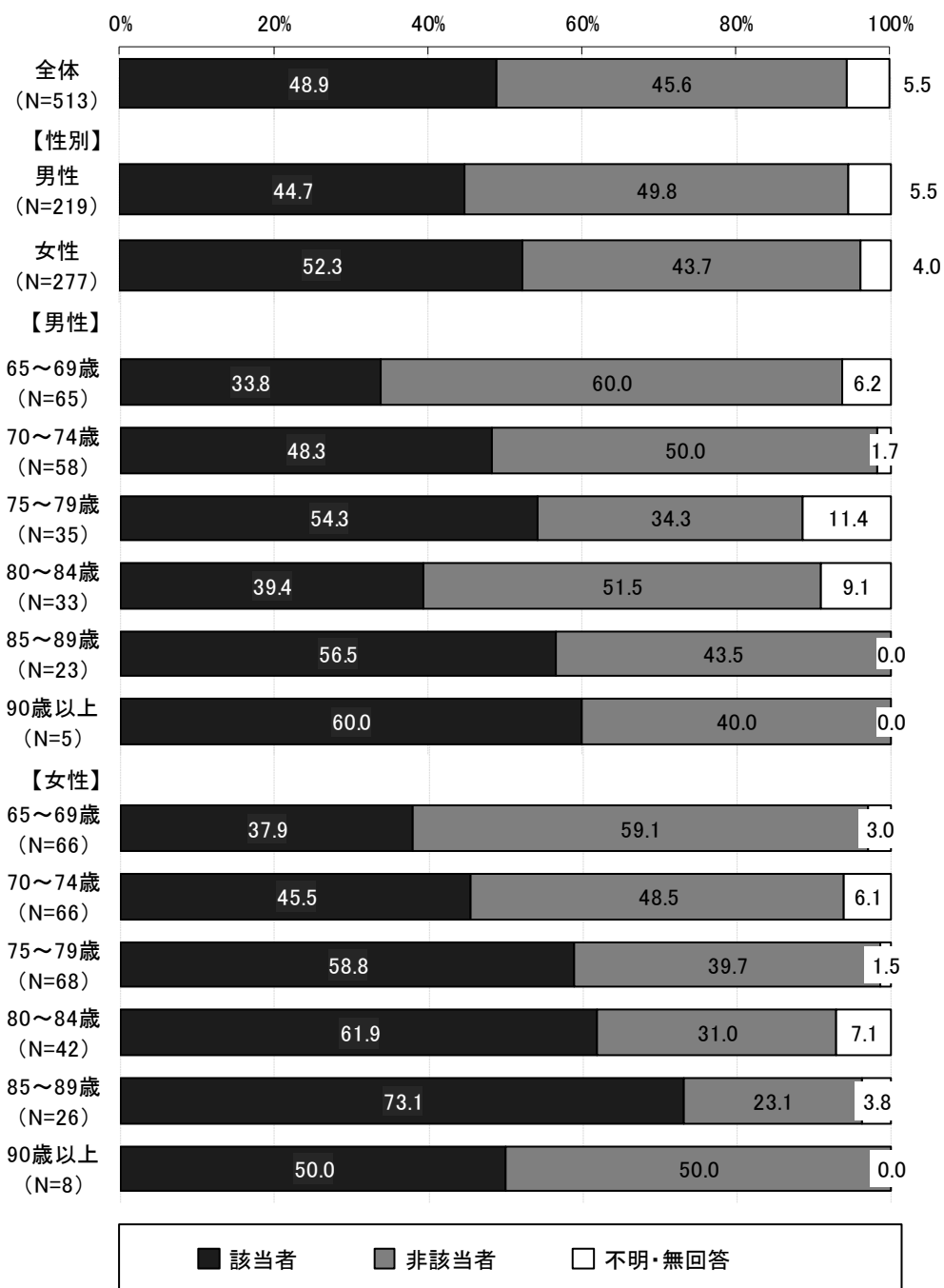


(4) 認知

認知についてみると、「該当者」が48.9%、「非該当者」が45.6%となっています。

男女別では、女性の方が「該当者」の割合が高くなっています。

年齢別でみると、男性では80～84歳で「該当者」の割合が39.4%と減少していますが、おおむね年齢が高くなるにつれて「該当者」の割合が高くなる傾向がみられます。女性では年齢が高くなるにつれて「該当者」の割合が高くなっています。



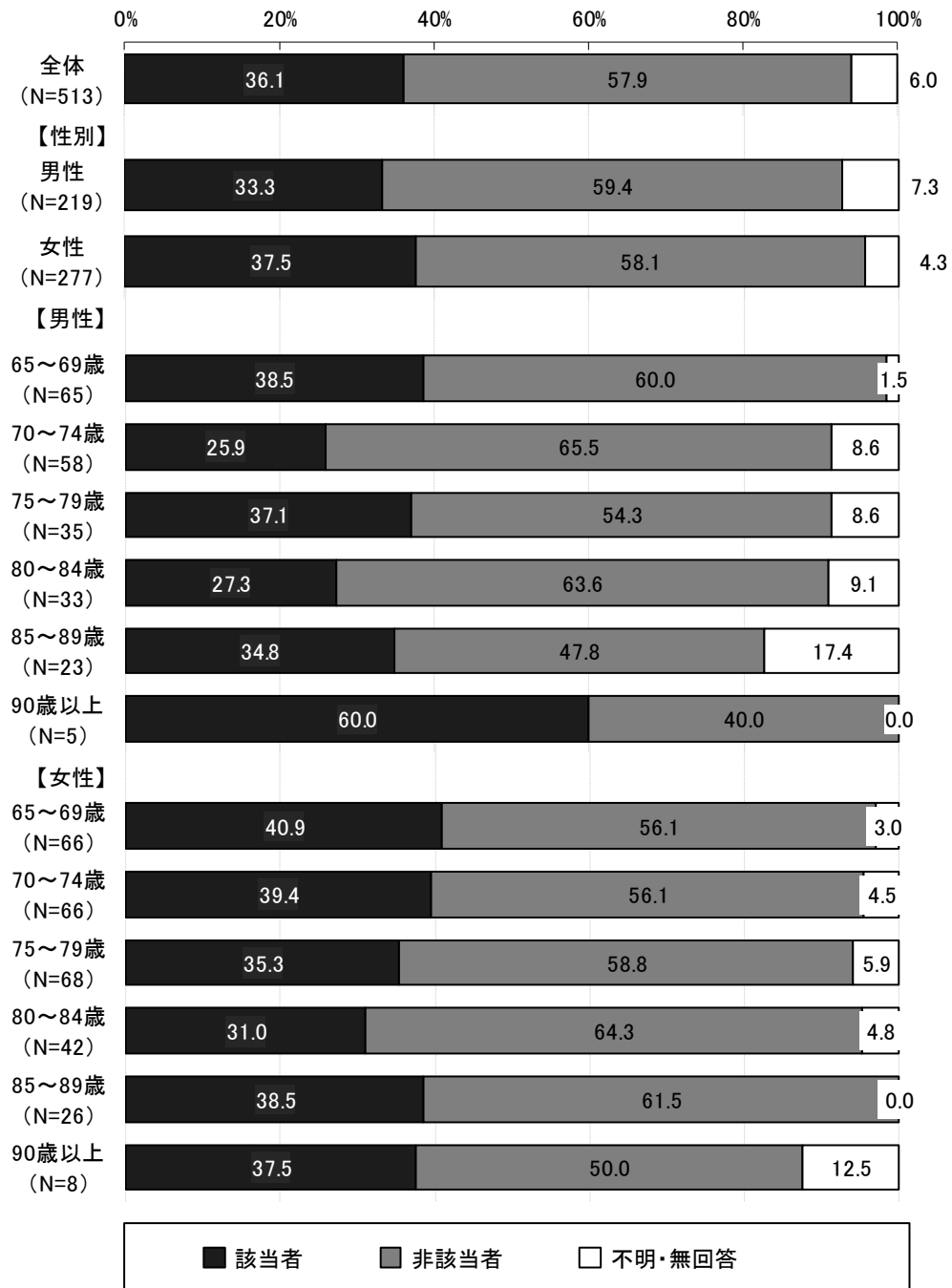
(5) 心(うつ)

心(うつ)についてみると、「非該当者」が57.9%、「該当者」が36.1%となっています。

男女別では、女性の方が「該当者」の割合が高くなっています。

年齢別でみると、男性では65～69歳、75～79歳、85～89歳で3割台後半となっており、90歳以上で60.0%と高い割合を占めています。

女性では65歳～69歳から80～84歳にかけて「該当者」の割合が減少しています。



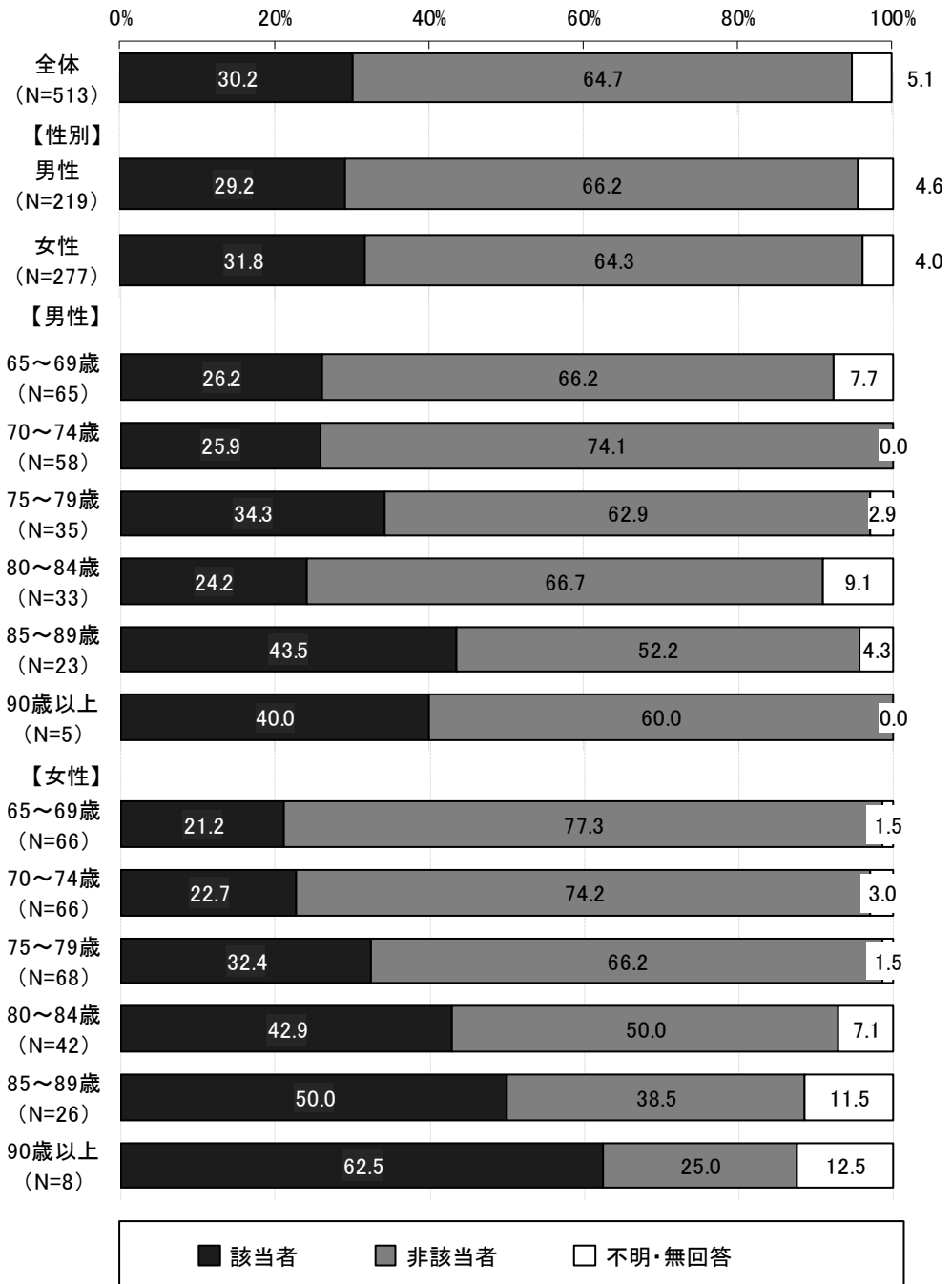
(6) 咀嚼

咀嚼についてみると、「非該当者」が64.7%、「該当者」が30.2%となって慰安す。

男女別では大きな差はみられませんでした。

年齢別でみると、男性では85歳以上で「該当者」が4割台となっています。

女性では年齢が高くなるにつれて「該当者」の割合が高くなっています。



2. IADL (Instrumental Activities of Daily Living: 手段的日常生活動作)

IADL の低下について、以下の表の通り判定を進めました。該当する選択肢（表の網掛け箇所）が回答された場合は1点と数え、合計が5点で IADL が「高い」、4点で「やや低い」、0～3点で「低い」と判定されます。

設問内容	選択肢
問6(2) バスや電車を使って1人で外出していますか (自家用車でも可)	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
問6(3) 自分で食品・日用品の買物をしていますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
問6(4) 自分で食事の用意をしていますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
問6(5) 自分で請求書の支払いをしていますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
問6(6) 自分で預貯金の出し入れをしていますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

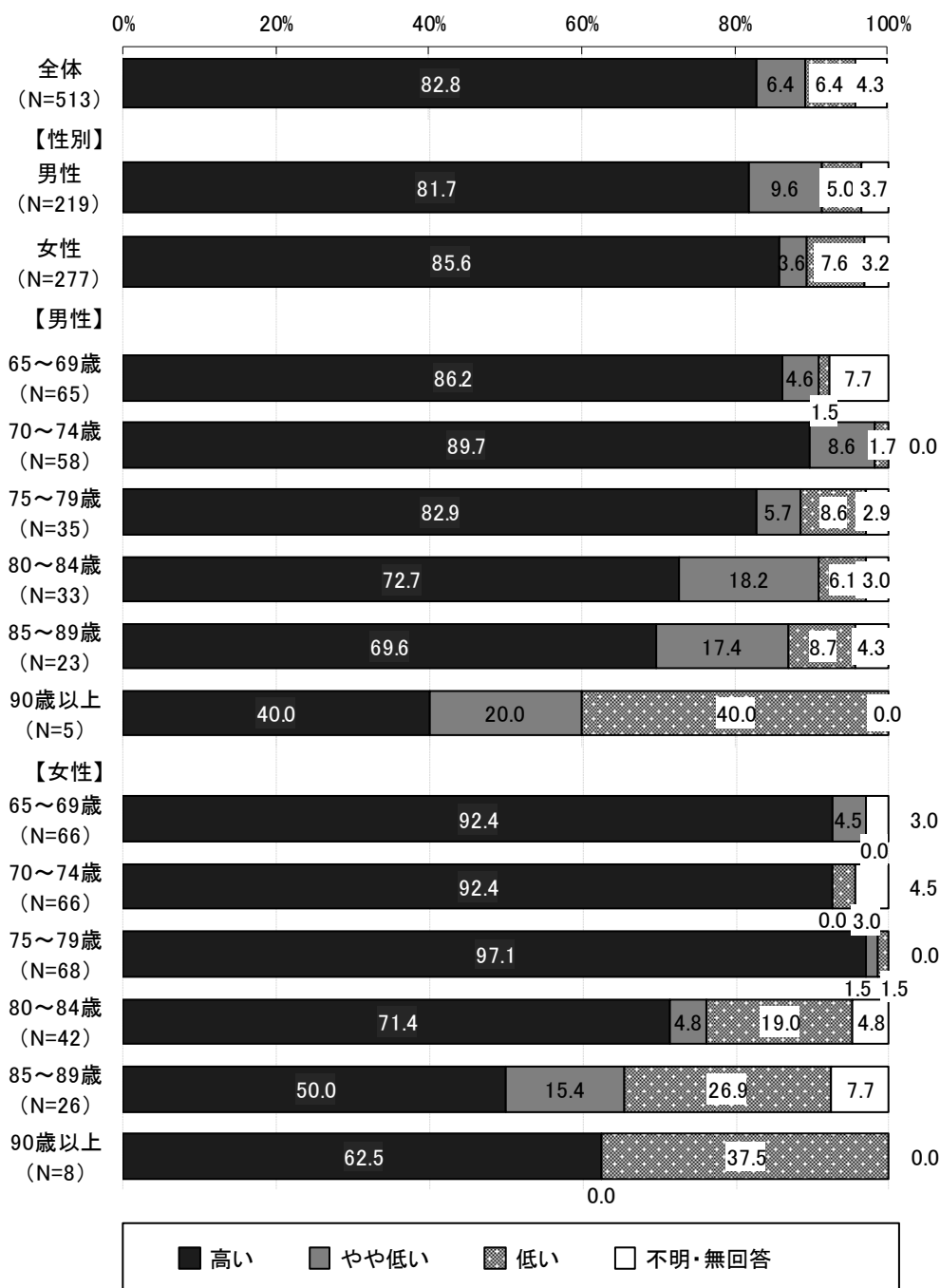
<判定結果>

IADL (手段的日常生活動作) についてみると、「高い」が 82.8%と最も高く、次いで「やや低い」、
「低い」がそれぞれ 6.4%となっています。

男女別では大きな差はみられませんでした。

年代別では、男性では年齢が高くなるにつれて「高い」の割合が減少しています。

女性では 75～79 歳までは「高い」が 9 割台となっていますが、80 歳以上では大幅に減少してい
ます。

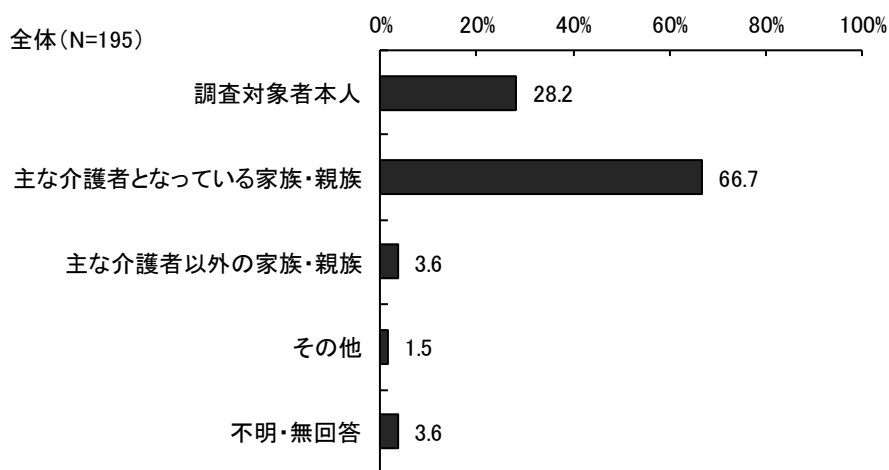


IV 在宅介護実態調査

1. 調査対象者について

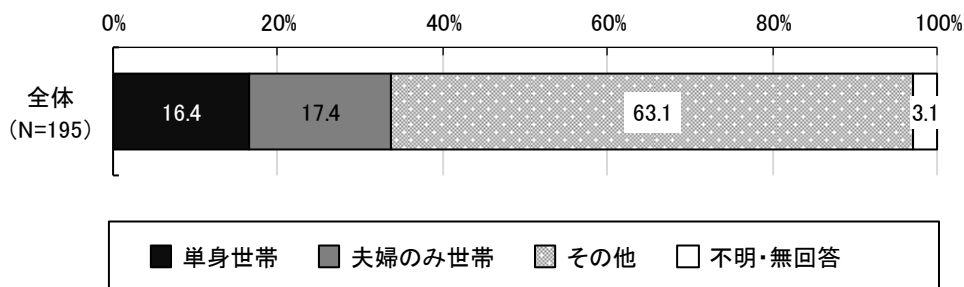
問1 現在、この調査票にご回答頂いているのは、どなたですか(MA)

調査票にご回答頂いている方についてみると、「主な介護者となっている家族・親族」が66.7%と最も高く、次いで「調査対象者本人」が28.2%、「主な介護者以外の家族・親族」が3.6%となっています。



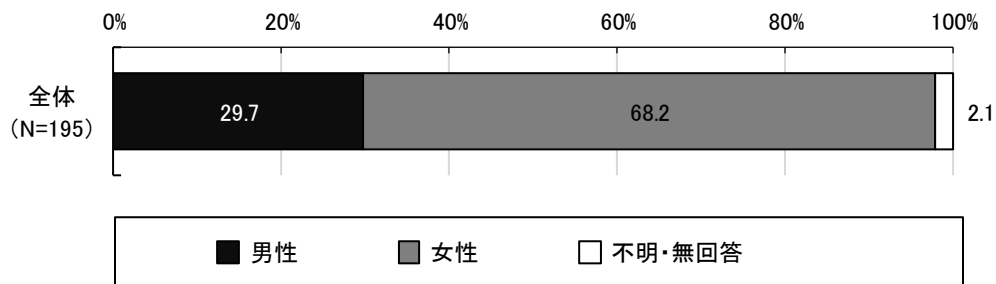
問2 世帯類型について、ご回答ください(SA)

世帯類型についてみると、「夫婦のみ世帯」が17.4%、「単身世帯」が16.4%となっています。



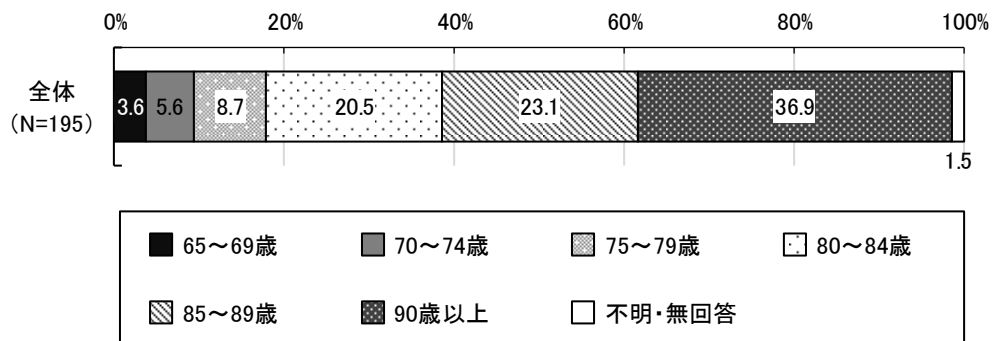
問3 ご本人の性別について、ご回答ください(SA)

ご本人の性別についてみると、「女性」が68.2%、「男性」が29.7%となっています。



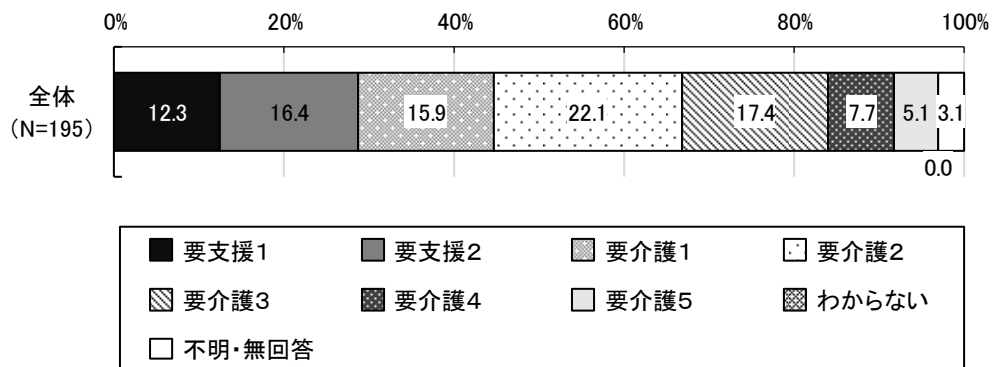
問4 ご本人の年齢について、ご回答ください(SA)

ご本人の年齢についてみると、「90歳以上」が36.9%と最も高く、次いで「85～89歳」が23.1%、「80～84歳」が20.5%となっています。



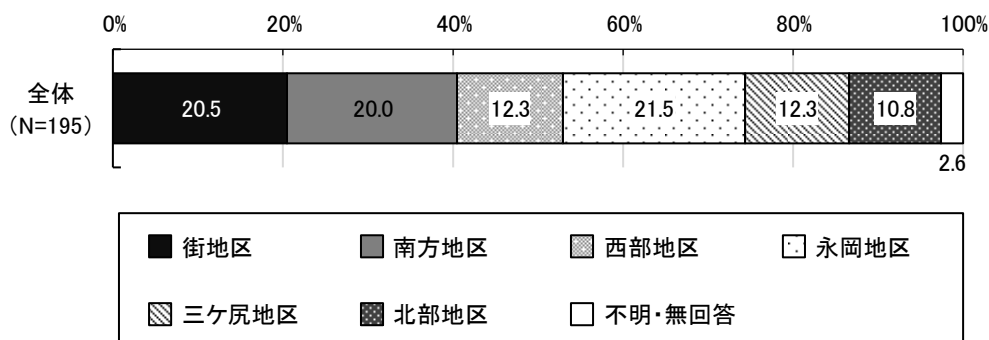
問5 ご本人の要介護度について、ご回答ください(SA)

ご本人の要介護度についてみると、「要介護2」が22.1%と最も高く、次いで「要介護3」が17.4%、「要支援2」が16.4%となっています。



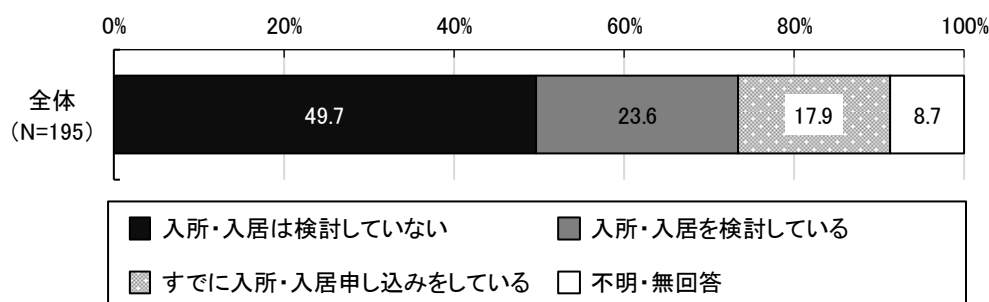
問6 ご本人の居住地域について、ご回答ください(SA)

ご本人の居住地域についてみると、「永岡地区」が21.5%と最も高く、次いで「街地区」が20.5%、「南方地区」が20.0%となっています。



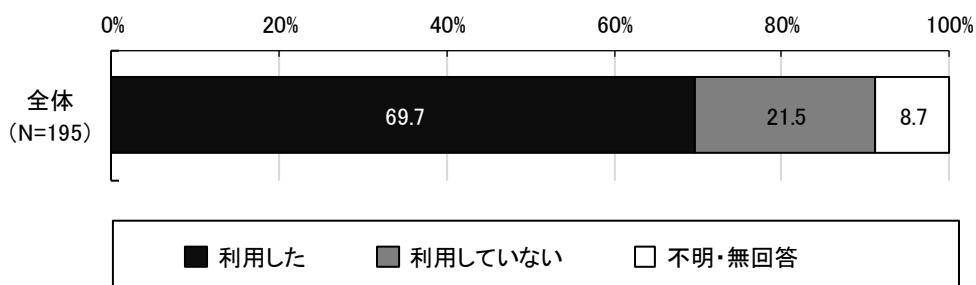
問7 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください(SA)

現時点での、施設等への入所・入居の検討状況についてみると、「入所・入居は検討していない」が49.7%と最も高く、次いで「入所・入居を検討している」が23.6%、「すでに入所・入居申し込みをしている」が17.9%となっています。



問8 令和元年12月の1か月の間に、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の)介護保険サービスを利用しましたか(SA)

令和元年12月の1か月の間に、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の)介護保険サービスを利用したかについてみると、「利用した」が69.7%、「利用していない」が21.5%となっています。

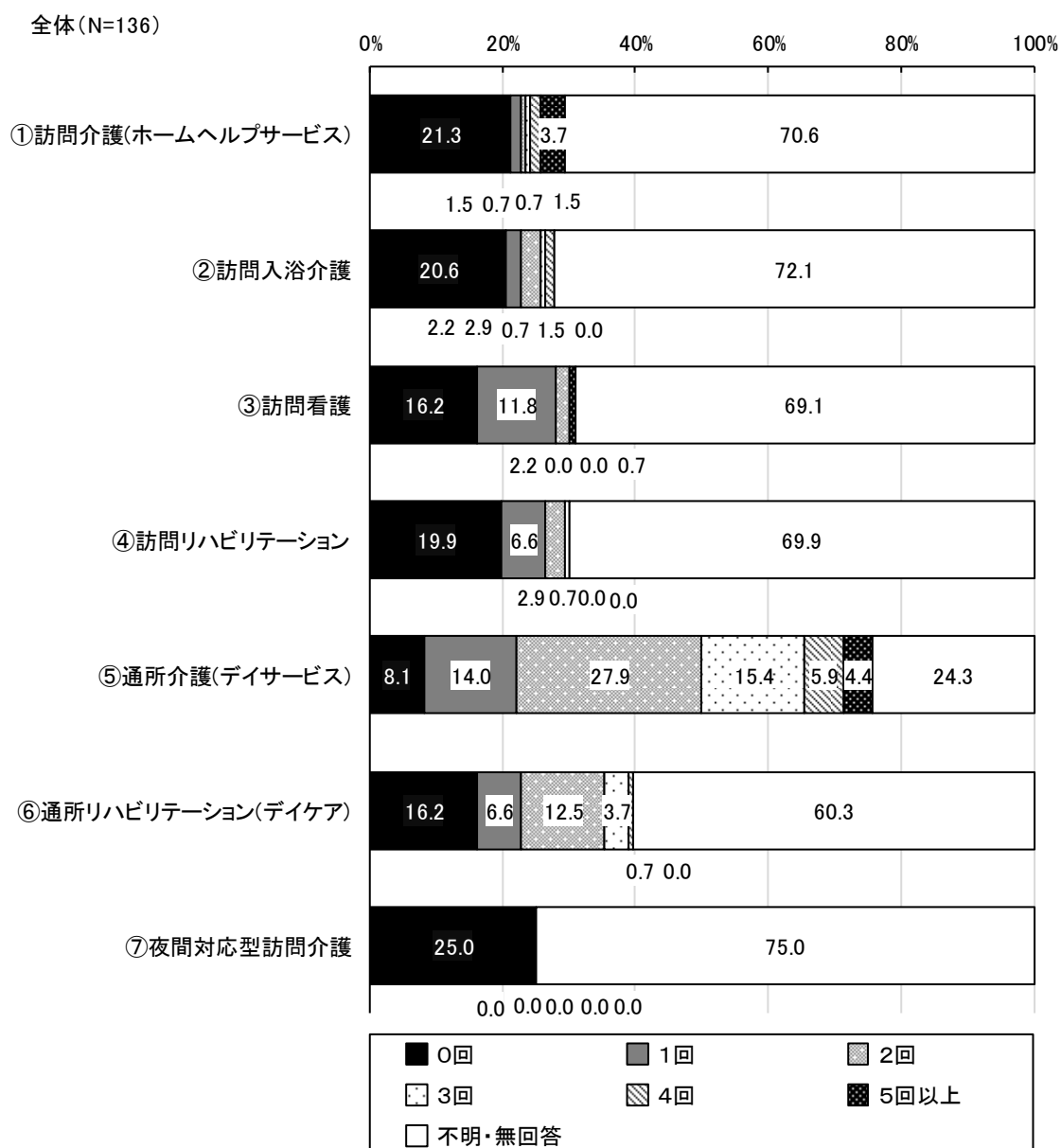


問 8 で「1.利用した」と回答した方にお伺いします。

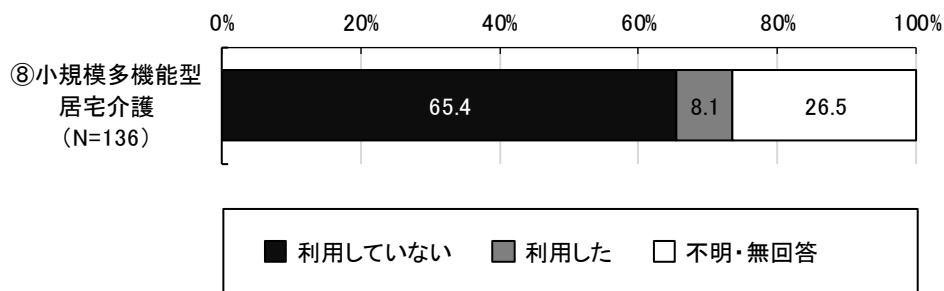
問 9 以下の介護保険サービスについて、令和元年 12 月の 1 か月間の利用状況をご回答ください。

介護保険サービスの利用状況についてみると、【③訪問看護】【④訪問リハビリテーション】【⑤通所介護(デイサービス)】【⑥通所リハビリテーション(デイケア)】で『利用したことがある』(「1回」「2回」「3回」「4回」「5回以上」の合計)が1割以上となっており、【⑤通所介護(デイサービス)】では67.6%の方が利用しています。

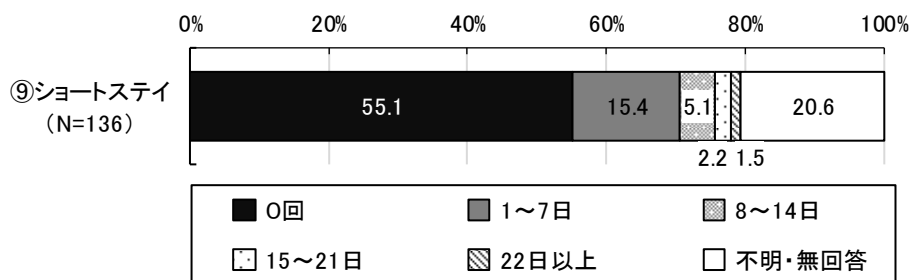
一方、【①訪問介護(ホームヘルプサービス)】【②訪問入浴介護】【⑦夜間対応型訪問介護】で「0回」が2割台となっています。



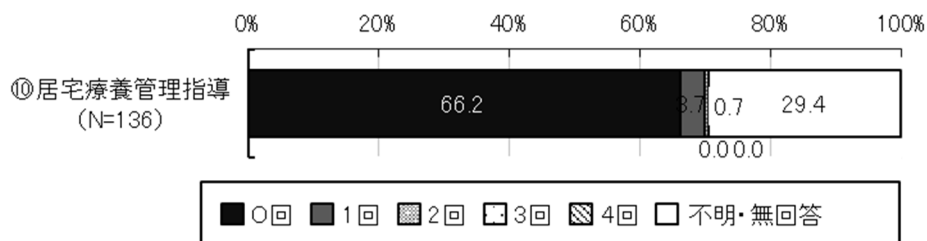
【⑧小規模多機能型居宅介護】についてみると、「利用していない」が65.4%、「利用した」が8.1%となっています。



【⑨ショートステイ】についてみると、「0回」が55.1%と最も多く、次いで「1～7日」が15.4%、「8～14日」が5.1%となっています。



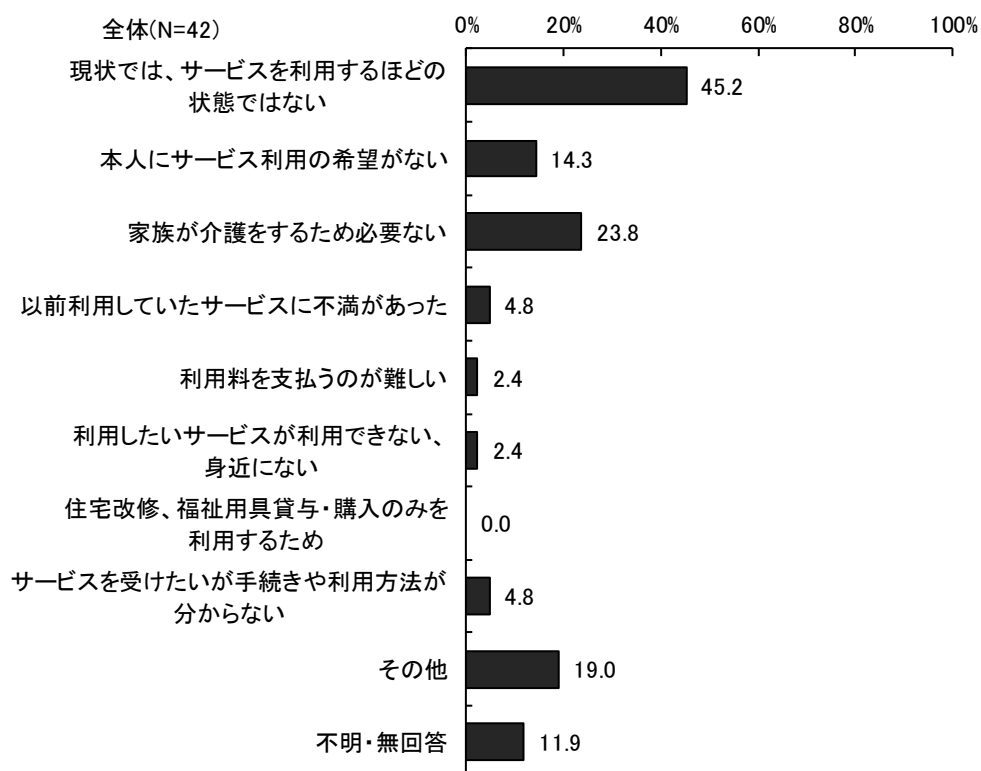
【⑩居宅療養管理指導】についてみると、「0回」が66.2%と最も多く、次いで「1回」が3.7%、「2回」が0.7%となっています。



問 8 で「2.利用していない」と回答した方にお伺いします。

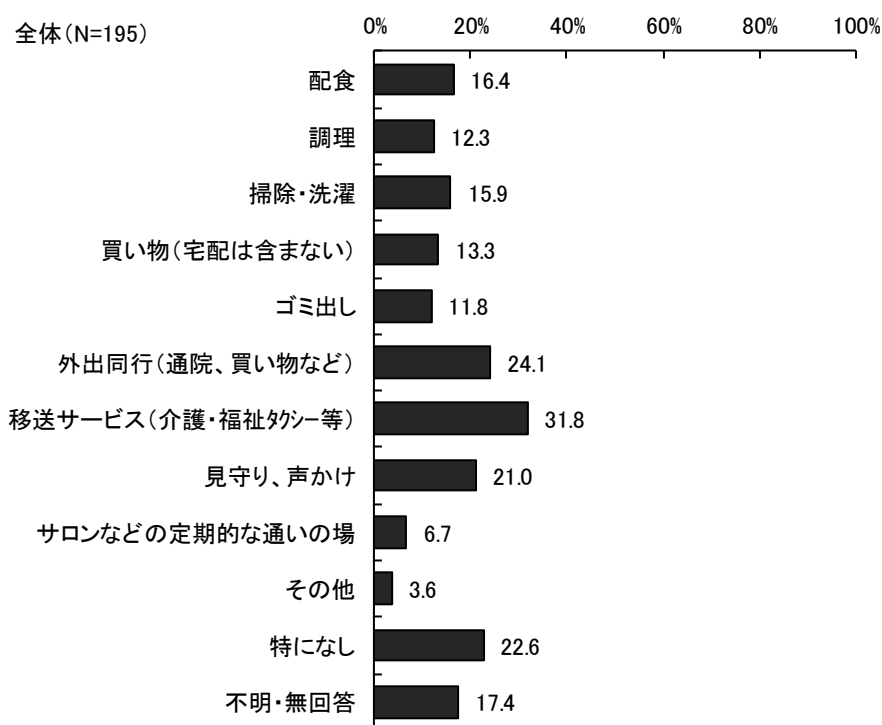
問 10 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか (MA)

介護保険サービスを利用していない理由についてみると、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が 45.2%と最も高く、次いで「家族が介護をするため必要ない」が 23.8%、「本人にサービス利用の希望がない」が 14.3%となっています。



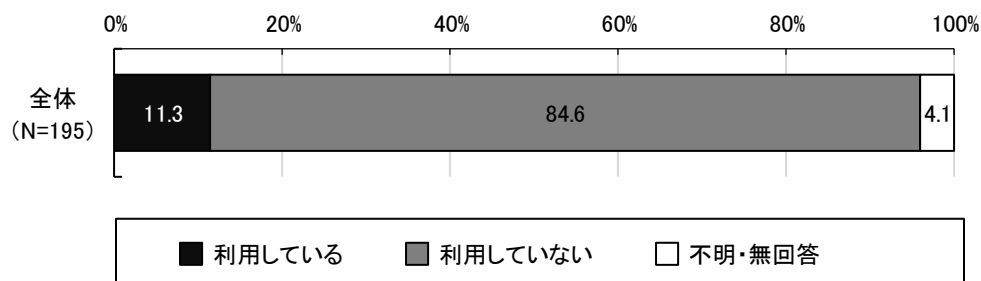
問 11 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください(MA)

今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）についてみると、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が31.8%と最も高く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」が24.1%、「特になし」が22.6%となっています。



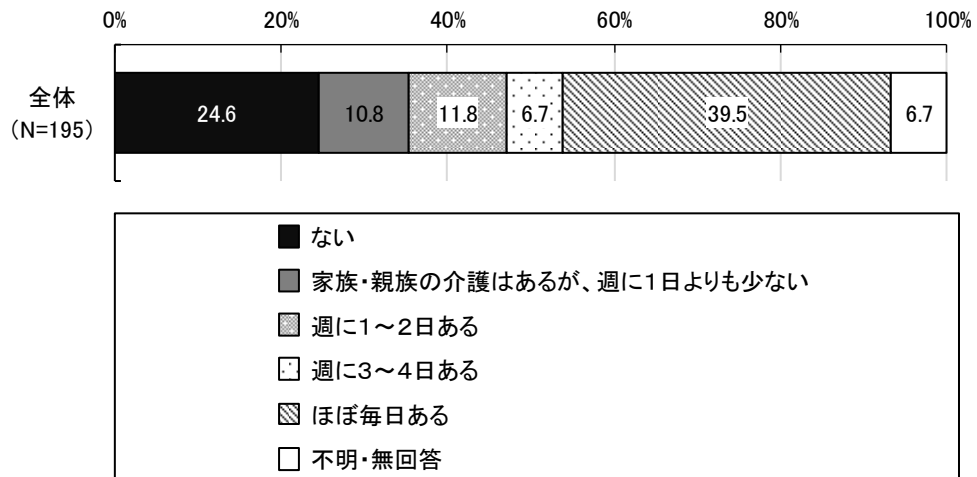
問 12 ご本人（認定調査対象者）は、現在、訪問診療を利用していますか(SA)

ご本人（認定調査対象者）が現在、訪問診療を利用しているかについてみると、「利用していない」が84.6%、「利用している」が11.3%となっています。



問 13 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか（同居していない子どもや親族等からの介護を含む）（SA）

ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいあるか（同居していない子どもや親族等からの介護を含む）についてみると、「ほぼ毎日ある」が39.5%と最も高く、次いで「ない」が24.6%、「週に1～2日ある」が11.8%となっています。

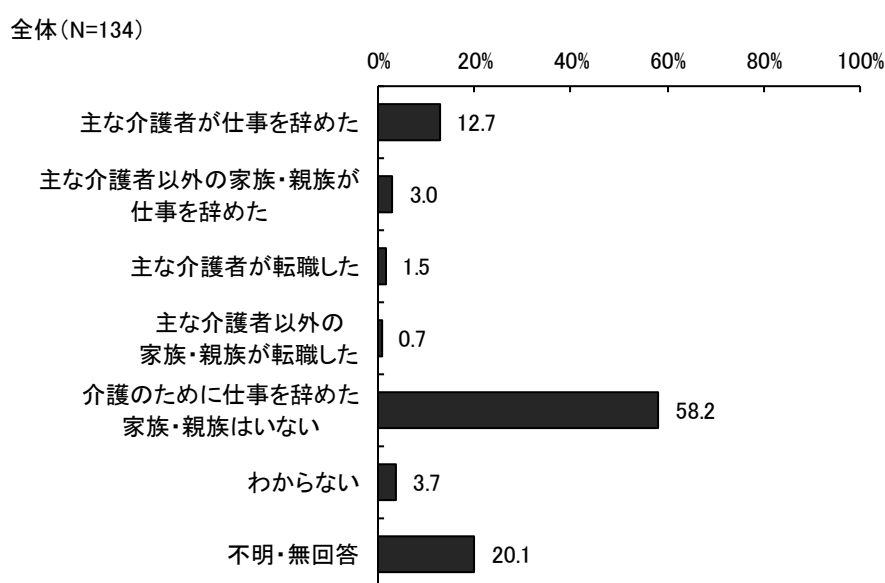


※ここからは、1. 調査対象者ご本人についての問13で「1.ない」以外に回答された方にお伺いします。

2. 主な介護者の方について

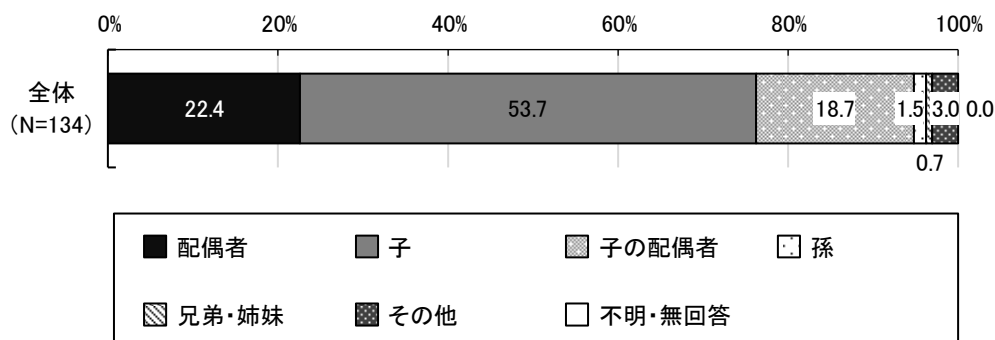
問1 ご家族やご親族の中で、ご本人（認定調査対象者）の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか(MA)

ご家族やご親族の中で、ご本人（認定調査対象者）の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方についてみると、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が58.2%と最も高く、次いで「主な介護者が仕事を辞めた」が12.7%、「わからない」が3.7%となっています。



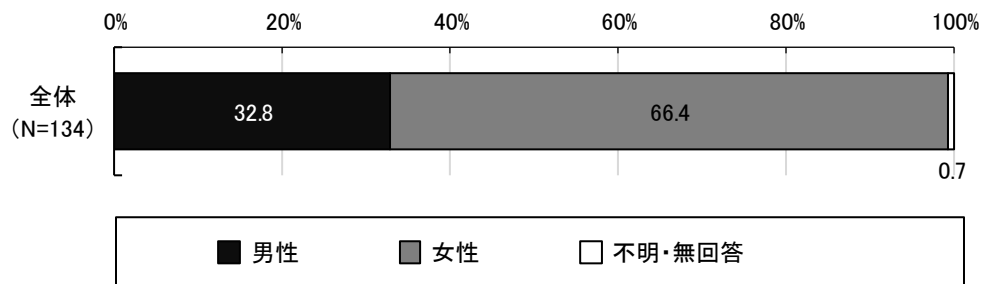
問2 主な介護者の方は、どなたですか(SA)

主な介護者の方についてみると、「子」が53.7%と最も高く、次いで「配偶者」が22.4%、「子の配偶者」が18.7%となっています。



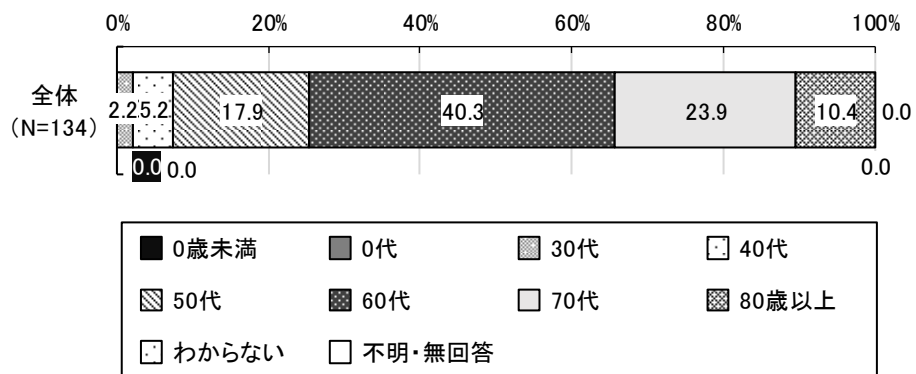
問3 主な介護者の方の性別について、ご回答ください(SA)

主な介護者の方の性別についてみると、「女性」が66.4%、「男性」が32.8%となっています。



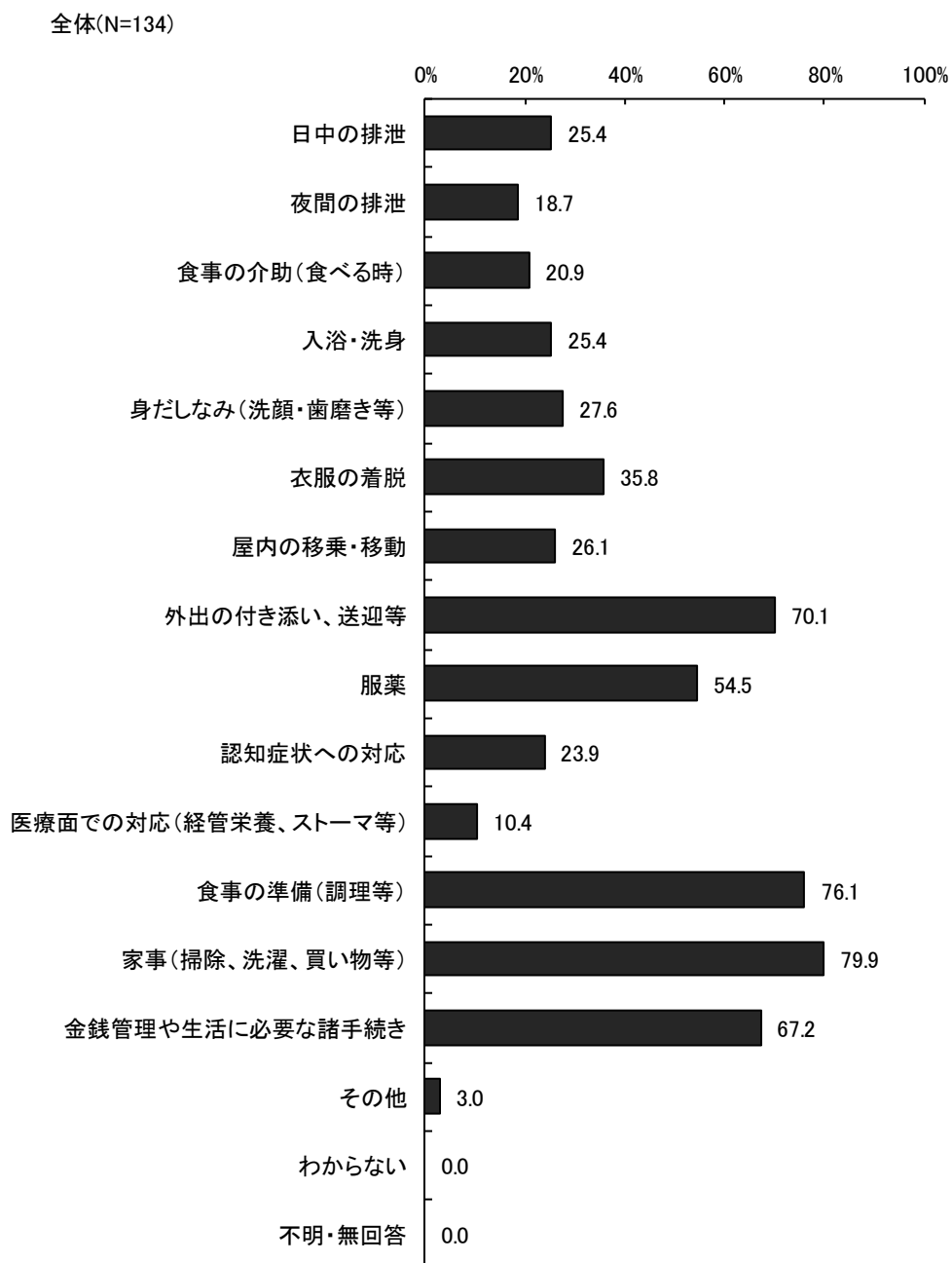
問4 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください(SA)

主な介護者の方の年齢についてみると、「60代」が40.3%と最も高く、次いで「70代」が23.9%、「50代」が17.9%となっています。



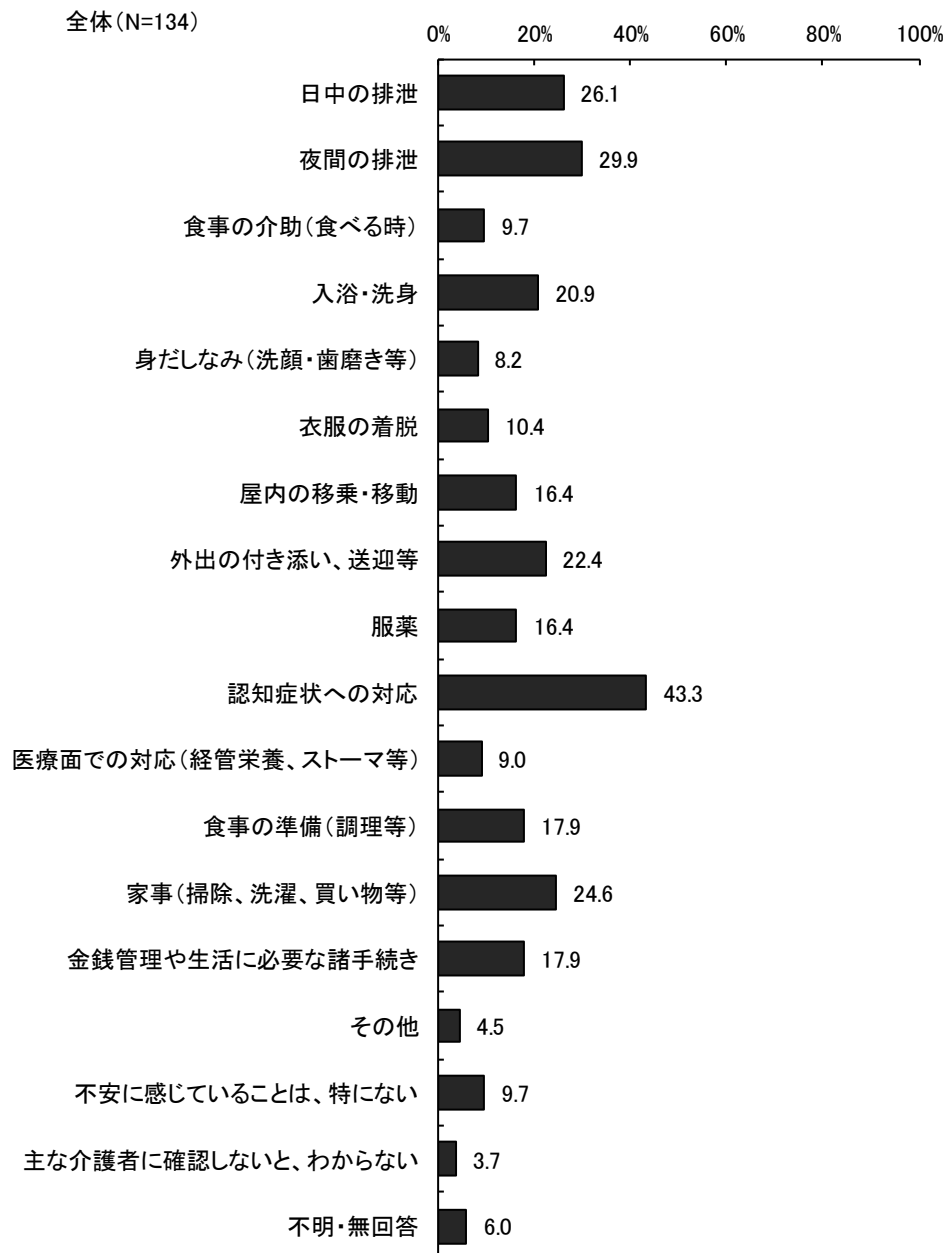
問5 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください(MA)

現在、主な介護者の方が行っている介護等についてみると、「家事（掃除、洗濯、買い物等）」が79.9%と最も高く、次いで「食事の準備（調理等）」が76.1%、「外出の付き添い、送迎等」が70.1%となっています。



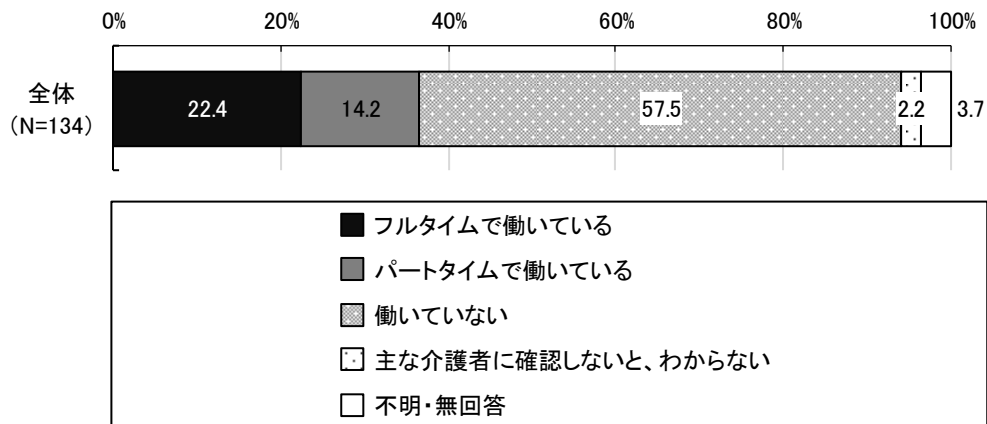
問 6 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください(MA)

現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等についてみると、「認知症状への対応」が 43.3%と最も高く、次いで「夜間の排泄」が 29.9%、「日中の排泄」が 26.1%となっています。



問 7 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください (SA)

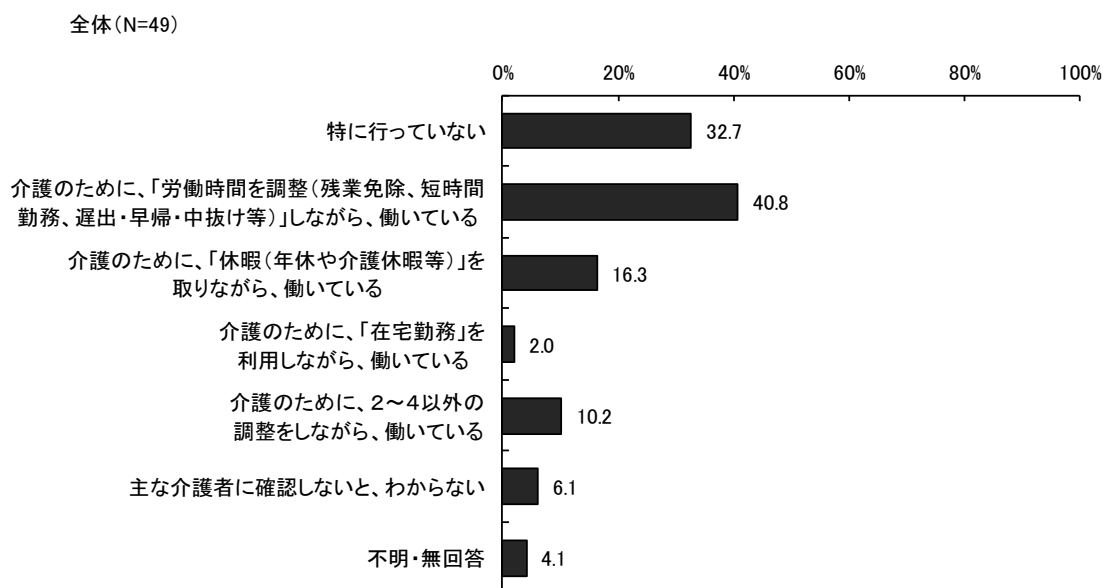
主な介護者の方の現在の勤務形態についてみると、「働いていない」が 57.5%と最も高く、次いで「フルタイムで働いている」が 22.4%、「パートタイムで働いている」が 14.2%となっています。



問 7 で「1.フルタイムで働いている」「2.パートタイムで働いている」と答えた方にお伺いします。

問 8 主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか (MA)

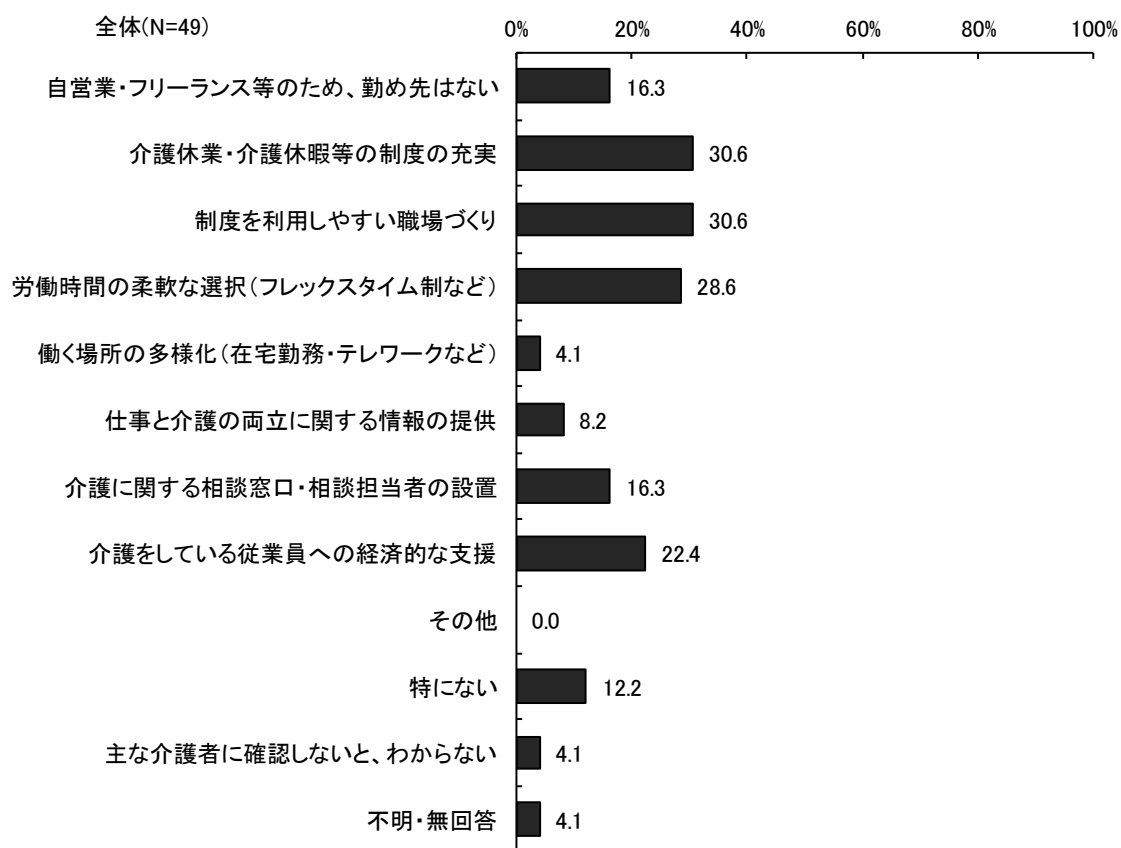
主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしているかについてみると、「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」が 40.8%と最も高く、次いで「特に行っていない」が 32.7%、「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」が 16.3%となっています。



問 7 で「1.フルタイムで働いている」「2.パートタイムで働いている」と答えた方にお伺いします。

問 9 主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか (MA)

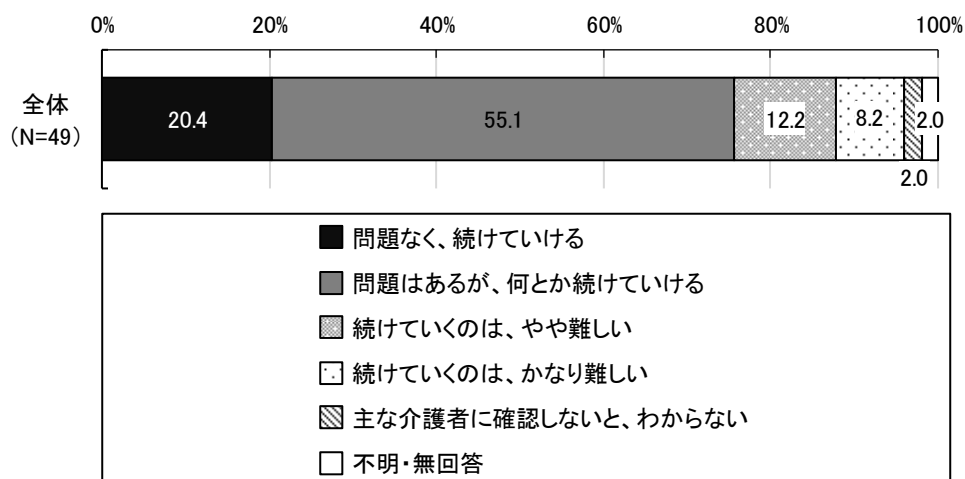
主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思うかについてみると、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」、「制度を利用しやすい職場づくり」がそれぞれ 30.6%と最も高く、次いで「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」が 28.6%となっています。



問 7 で「1.フルタイムで働いている」「2.パートタイムで働いている」と答えた方にお伺いします。

問 10 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか (SA)

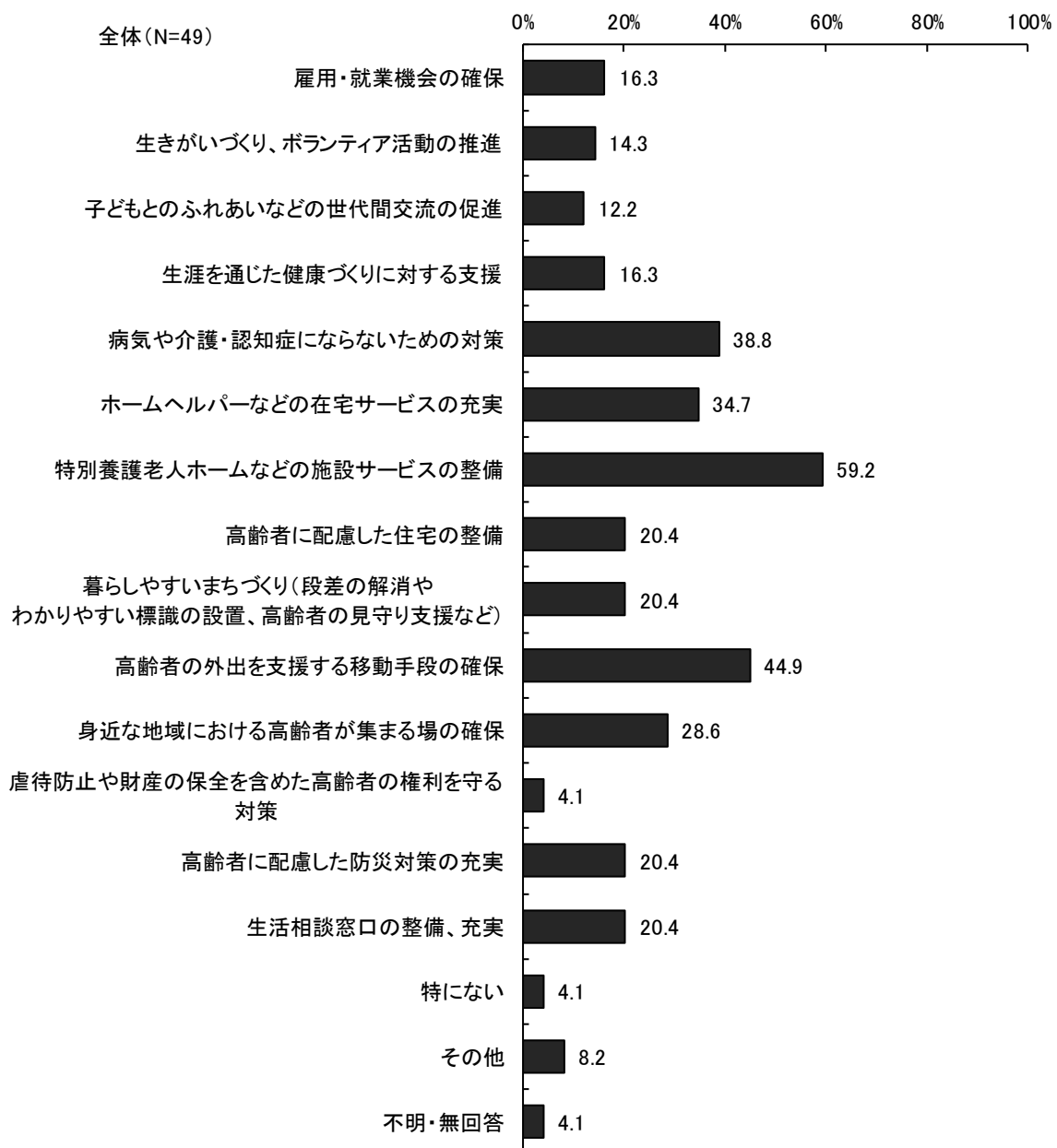
主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうかについてみると、「問題はあるが、何とか続けていける」が 55.1%と最も高く、次いで「問題なく、続けていける」が 20.4%、「続けていくのは、やや難しい」が 12.2%となっています。



問7で「1.フルタイムで働いている」「2.パートタイムで働いている」と答えた方にお伺いします。

問11 今後の高齢者に対する施策として、あなたはどのような点に重点を置くべきだと思いますか(MA)

今後の高齢者に対する施策として、どのような点に重点を置くべきだと思うかについてみると、「特別養護老人ホームなどの施設サービスの整備」が59.2%と最も高く、次いで「高齢者の外出を支援する移動手段の確保」が44.9%、「病気や介護・認知症にならないための対策」が38.8%となっています。



**金ケ崎町 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査
及び在宅介護実態調査 報告書**

発行年月 令和2年3月

発行 金ケ崎町 保健福祉センター 介護保険係
〒029-4503

岩手県胆沢郡金ケ崎町西根鍮水98

TEL : 0197-44-4560

FAX : 0197-44-4337
